

平成 30 年度

事業 結果 報告 書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

I はじめに	1
II 実施事業	
1. 社協運営及び機能強化	3
1-(1) 法人運営管理	3
① 理事会	
② 評議員会	
③ 監査会	
④ 正副会長会	
⑤ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会	
⑥ 八市社協会	
1-(2) 広報	8
① 社協だより・刊行物等の発行	
② ホームページ	
1-(3) 社協会費、募金等	8
① 社協会費	
② 日赤社費	
③ 共同募金	
1-(4) 研修啓発、講座	11
① 松江市社会福祉大会	
② 健康福祉フェスティバル	
③ 第70回松江市民余芸大会	
④ 地域ケア連携推進フォーラム	
1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進	13
1-(6) 共同募金配分事業の取り組み	13
2. 地域福祉及び連絡調整の強化	15
2-(1) 地域福祉の推進	15
① コミュニティソーシャルワーク（CSW）の展開	
② 地区社協・各種団体との連携	
③ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）	
④ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議	
⑤ 福祉推進員代表者会	
⑥ 福祉推進員研修会	
⑦ あったかスクラム事業の支援	
2-(2) 緊急事案への対応	22
① 生活再建おうちクリーニング事業	
2-(3) 広域福祉事業の推進	22
① 福祉サービス利用援助事業の推進	
② 法人成年後見事業	
③ 市民後見人等養成事業	
④ 市民後見人養成講座フォローアップ・生活支援員の研修	
⑤ 市民後見人の育成・活用に向けての勉強会	

3. ボランティア活動及び福祉教育	27
3-(1) コーディネート強化、見直し	27
3-(2) ボランティアの育成、養成	27
① 育成研修	
② 養成研修	
③ ボランティア登録時研修	
3-(3) ボランティアの活動支援	29
① ボランティアルームの開放及び備品の貸し出し及び保険加入の促進	
② 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援	
③ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携活動支援	
3-(4) 福祉教育の推進	30
3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化	31
3-(6) 松江市まめなかポイント事業	32

4. 在宅生活支援事業の推進	32
4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み	32
① 地域包括支援センター事業の推進	
② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進	
③ 生活支援コーディネーター設置事業	
④ 認知症地域支援推進事業	
4-(2) 支援策研究開発会議	42
4-(3) 社協内相談事業連絡会議	43
4-(4) 各種貸付・相談	43
① 生活福祉資金の貸付	
② 民生融金の貸付	
4-(5) 福祉サービス	44
① 福祉サービスの充実及び企画・実施	
② 介護職員初任者研修の実施	

5. 公的福祉サービス受託事業の推進	47
5-(1) なごやか寄り合い事業	47
5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営事業	48
5-(3) 生活困窮者自立支援（松江市くらし相談支援センター）	49
① 自立相談支援事業	
② 一時生活支援事業	
③ 住居確保給付金	
④ 家計相談支援事業	
⑤ 就労準備支援事業	
⑥ 入居債務保証制度	
⑦ フードバンク事業	
⑧ 助っ人弁護士制度	

6. 介護保険関係事業の推進	52
6-(1) 松江社協介護センターの経営	52

① 居宅介護支援事業		
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業		
6-(2) 美保関介護センターの経営	_____	53
① 居宅介護支援事業		
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業		
③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業		
6-(3) 松南介護センターの経営	_____	55
① 居宅介護支援事業		
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業		
6-(4) 宍道介護センターの経営	_____	56
① 居宅介護支援事業		
② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業		
6-(5) 介護センターの研修等の推進	_____	57
① 介護支援専門員資質向上事業		
② 訪問介護員内部研修		
③ 居宅介護支援介護支援専門員内部研修		
④ その他介護職員関係研修への参加		
6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託	_____	59

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進 **60**

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業	_____	60
① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業		
② 美保関障がい者居宅介護事業		
③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業		
④ 宍道障がい者居宅介護事業		

8. 児童福祉サービスの推進 **63**

8-(1) 児童センター等の受託運営	_____	63
① 八雲児童センター運営事業		
② 八雲児童・子育て事業		
8-(2) 子ども食堂の取り組み	_____	64

9. 福祉施設等管理運営事業の受託 **64**

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業	_____	64
9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業	_____	65
9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業	_____	65
9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業	_____	65
9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業	_____	66

10. 「地域共生社会の実現に向けた」地域づくり推進 **66**

10-(1) 地域力強化推進事業	_____	66
① 歩いて行けるみんなの居場所づくり事業		
② 参加型買い物支援と介護予防の取り組み		
③ 巡回相談の実施		

10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業	67
① 松江市社会福祉協議会職員全てが相談を受けとめる体制づくり	
② 受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり	
③ 関係機関との連携	
④ 周知啓発	
10-(3) 松江市小規模法人のネットワーク化による共同推進事業	69
① 障がい者がくらしやすい地域づくり研修会	
② 小規模作業所体験会（バスツアー）	

11. 災害支援 70

11-(1) 各地への災害支援派遣	70
-------------------	----

組織・機構

※平成 31 年 4 月 1 日付正規職員採用の方針について	71
※職員数一覧表	72
※松江市社会福祉協議会組織機構図	

はじめに

少子高齢化が進むとともに、家庭や地域での人間関係が希薄化する中で、地域においては社会的孤立を背景にした、高齢者の孤立、孤独死、生活困窮、児童虐待など様々な問題が発生しています。このような中で、国や自治体では、「地域共生社会」の実現に向けた施策が推進されています。

このように国をあげてすすめられている取組みは、社協の方向性と合致するものであり、本来の使命と理念に立ち返り、誰も排除しない「我が事・丸ごと」の地域づくりや地域包括支援システムの実現に向けて取組みました。特に、これまでの既存の事業や活動を活性化し、総合相談支援の強化充実を図りました。

平成30年度は、以下の重点目標を掲げ事業を推進しました。

1. 「我が事・丸ごと」の地域づくりの推進（地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業）

全ての社協職員がなんでも相談員として地域住民が抱える様々な課題を「ふくしなんでも相談所」や「巡回相談」等をとおして丸ごと受け止め、支援しました。相談支援の中から、あらためて社会的に孤立している市民の状況が明らかになったため「社会的孤立予防プロジェクト」を立ち上げ、福祉推進員のブロック研修会等で、社会的孤立の背景について住民理解を深めることができるよう努めました。

2. コミュニティソーシャルワークの推進

コミュニティソーシャルワークとは、地域において生活上の課題を抱える個人や家族に対する“個別支援”と、それらの人々が暮らす生活環境の整備や住民の組織化等の“地域支援”をチームアプローチによって展開・実践することです。

各日常生活圏域を担当のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、ふくしなんでも相談等で把握した事例に対して相談支援し、必要に応じて関係機関と連携しながら新たな支えあいの仕組みづくりに取組みました。

3. 総合相談機能の強化

総合相談調整室を中心に、社協の持つ様々な相談機能「コミュニティソーシャルワーカー」「地域包括支援センター」「障がい者サポートステーション絆」「くらし相談支援センター」「権利擁護事業」等との連携を強化し、さらには法人外組織「法テラス島根」等と連携し、総合相談機能の強化を図りました。

4. 地域包括ケアシステム実現に向けた事業の推進

『在宅医療・介護連携支援センター』を拠点に、在宅医療と介護を一体的に提供できるよう、松江市・保健所・医師会・介護支援専門員協会・訪問看護ステーション・地域包括支援センター等と医療と介護関係者の情報共有や地域住民を対象に講座や寸劇をとおして在宅医療や介護の理解を深めました。

各地域包括支援センターでは、介護支援専門員・サービス提供事業所などを対象に「地域ケア会議」「松江市事例検討会」「公開講座」を開催し、高齢者の介護予防・自立支援の視点に立ったサービス提供や介護予防ケアマネジメント力の向上に取り組みました。

5. 災害ボランティアセンターへの派遣支援

平成30年度も全国各地で自然災害等による甚大な被害が発生しましたが、各被災地へ職員を派遣し、各市町村社協で開設された災害ボランティアセンターの支援を行い、被災者へ寄り添った支援を実践しました。

6. 第4次発展強化計画の策定

本会全体の活動・事業の方向性、果たすべき役割及び組織体制の強化や財政基盤の確立、人材育成等運営基盤の強化等について検討し、9つの重点事業を掲げ、今後の本会のあり方の具体像を示す「第4次発展強化計画」を策定しました。

II 実施事業

1. 社協運営及び機能強化

1-(1) 法人運営管理

【総務課】

社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担い手としてふさわしい事業を確実に、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協法人の意思決定を行いました。

①理事会

事業名等	内容	質疑・意見等
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年5月31日(木) 10:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数19名中15名 監事1名 ・平成29年度事業結果報告 ・平成29年度会計収支決算 ・第1回評議員会の開催について <p><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携支援センター事業の今年度の計画について ・支援策研究開発会議の今年度の展望について ・くらし相談支援センターの相談件数について ・福祉なんでも相談所での各段階での解決状況について ・後見人の各種講座修了者のその後の活躍状況について
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年12月19日(水) 13:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数20名中14名 監事2名 ・給与規程の一部改正について ・介護予防訪問介護及び介護予防通所介護運営規程の廃止について ・各介護センター障害者総合支援法居宅介護事業及び同行援護事業運営規程の一部改正について ・平成30年度会計第1号補正予算 ・自動車保険フリート契約(任意保険)の締結について ・評議員選任解任委員の選任について 	<ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員の永年勤続表彰について ・今年度の交通事故の状況とロードサービスの利用状況について ・身寄りがいない人支援に関するアンケートの回答機関について

事業名等	内容	質疑・意見等
第2回（続き）	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員の推薦について ・第2回評議員会の開催について ・第4次発展強化計画の作成について ・身寄りがない人への支援に関するアンケート調査報告 <p><u>以上原案どおり可決</u></p>	
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年3月22日（金）9:30～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数20名中16名 監事2名 ・給与規程の一部改正について ・平成30年度会計第2号補正予算 ・平成31年度事業計画 ・平成31年度会計予算 ・総合福祉センター清掃業務契約の締結 ・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結 ・美保関介護センター給食業務契約の締結 ・第3回評議員会の開催について <p><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大口寄付金の内訳と対応について ・補正予算上の事業区分の分類の仕方について ・なごやか寄り合い事業の現状と推進体制について ・子ども食堂の現状と来年度の計画について ・新たなニーズに対応した独自事業の具体的内容について ・給食業務を外部委託したことによる効果について

②評議員会

事業名等	内容	質疑・意見等
第1回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年6月20日(水) 10:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数23名中16名 ・平成29年度事業結果報告 ・平成29年度会計収支決算 ・役員の選任 <p style="text-align: center;"><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音訳、点訳版広報紙の配布先の選定や配布方法について ・あいサポート研修について ・移送サービスの利用対象や内容について ・決算書類と事業報告での職員計上の考えの違いについて ・資金収支計算書と事業活動計算書の人件費支出が異なる理由について
第2回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年12月21日(金) 10:30～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数24名中15名 ・平成30年度会計第1号補正予算 ・第4次発展強化計画の作成について ・身寄りがない人への支援に関するアンケート調査報告 <p style="text-align: center;"><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター支援派遣経費の内容について ・全社協が示す、社協の活動方針について ・社協発展強化計画の計画年数について ・アンケート報告から結びつける事業について
第3回	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年3月26日(月) 10:00～ 場所 松江市総合福祉センター4階 教養室 出席者 総数24名中12名 ・平成30年度会計第2号補正予算 ・平成31年度事業計画 ・平成31年度会計予算 <p style="text-align: center;"><u>以上原案どおり可決</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアポイントの現状について ・社会的孤立の研修について ・子どもの為の活動の助成金について ・ふくし何でも相談の窓口について

③監査会

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

事業名等	内容	質疑・意見等
監査会	●日時 平成30年5月18日(金)9:00～ ・平成29年度事業報告、会計収支決算監査	事業報告書、財務諸表正確であり不整の点なし

④正副会長会

事業名等	内容
第1回	●日時 平成30年5月24日(木)11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第1回理事会・第1回評議員会議案等について
第2回	●日時 平成30年10月16日(金)12:30～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・災害ボランティアセンター職員派遣状況について ・第4次発展強化計画について
第3回	●日時 平成30年12月6日(木)11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第2回理事会・第2回評議員会議案等について
第4回	●日時 平成31年3月15日(金)11:00～ 場所 松江市総合福祉センター 会議室 出席者 会長1名、副会長2名 ・第3回理事会議案等について

⑤中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

事業名等	内容
中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会) 第 56 期（平成 30 年度）総会及び研修会	<p>●日時 平成 31 年 1 月 31 日（木）～2 月 1 日（金）</p> <p>場所 ザ・グランドパレス徳島（徳島市）</p> <p>松江市社協参加者 事務局次長他 2 人</p> <p>第 1 日目</p> <p>総会 ・第 55 期事業報告及び収支決算 ・第 56 期事業計画及び収支予算について</p> <p>講演</p> <p>『「地域共生社会」における社協の役割について』</p> <p>全国福祉協議会地域福祉部 副部長 平井 庸元 氏</p> <p>第 2 日目</p> <p>シンポジウム</p> <p>テーマ「生活支援体制整備事業における社協の取り組みについて」</p> <p>コメンテーター 平井 庸元 氏</p> <p>実践報告者</p> <p>阿南市社会福祉協議会地域福祉課長 斎 芳宏 氏</p> <p>萩市社会福祉協議会地域福祉課主幹 山本 真琴 氏</p> <p>新見市社会福祉協議会地域推進課係長 上田 亮子 氏</p>

⑥八市社協会

八市社協会は、島根県内八市社会福祉協議会（松江市・浜田市・出雲市・益田市・大田市・安来市・江津市・雲南市）がかかえる問題の解決と、社会福祉活動の充実のために、八市社協を組織し、相互の連絡・調整及び研鑽を深め、八市社協の発展と振興に資することを目的として平成 6 年に結成されました。

事業名等	内容
第 1 回事務局長会	<p>日時 平成 31 年 1 月 25 日（火） 場所 大田市社会福祉協議会</p> <p>議題 ・中四国都市社協連絡協議会について ・平成 30 年度研修会の開催について</p>
平成 30 年度八市社協会研修会	<p>●日時 平成 31 年 3 月 2 日（土）</p> <p>場所 大田商工会議所（大田市）</p> <p>松江市社協参加者 常務理事他 10 人</p> <p>基調講演</p> <p>「島根県西部地震から大田市社協の」 取り組み</p> <p>大田市社会福祉協議会総務課長 和田 弘文 氏</p>

平成30年度八市社 協会研修会 (続き)	パネルディスカッション 「相次ぐ災害の現場から：各社協の報告」 コーディネーター 出雲市社会福祉協議会常務理事 江津社会福祉協議会事務局長 報告社協 雲南市、益田市、浜田市、安来市、出雲市、松江市	川瀬 英 氏 川島 幸雄 氏
----------------------------	--	-------------------

1-(2) 広報

【総務課】

①社協だより・刊行物等の発行

「まつえ社協だより」を年6回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また視覚障がい者の方へもよりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年6回発行（5月・7月・9月・11月・1月・3月）A4版 白黒 6ページ

巻数	発行日	発行部数	表紙の内容
第115号	平成30年5月1日	1号につき 77,900部 (音訳) 137部 (点訳) 63部	社協会費ご協力をお願い
第116号	平成30年7月1日		「くらし安心サポートセミナー」ご案内
第117号	平成30年9月1日		収集ボランティアご協力をお願い
第118号	平成30年11月1日		赤い羽根共同募金ピンバッジ紹介 及び募金お願い
第119号	平成31年1月1日		松江市社協から新年のご挨拶
第120号	平成31年3月1日		見守りネットワーク事業の啓発

②ホームページ <http://www.shakyou-matsue.jp/>

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報をタイムリーに発信するように努めました。

項目	H30年度(件)	
	年間アクセス数	ユーザー数
件数	36,207	21,039

1-(3) 社協会費、募金等

①社協会費

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入していただきました。

◆平成 30 年度 社協会費

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	H29 年度実績
一般会費	827 自治会	27,507,712	27,986,754
特別会費	83 件	182,000	210,000
団体会費	65 件	260,000	248,000
法人会費	127 件	715,000	695,000
計		28,664,712	29,139,754

*一般会費とは 1世帯当たり 800 円

*特別会費とは 個人で一口 2,000 円以上

*団体会費とは 福祉施設対象で一口 3,000 円以上

*法人会費とは 企業対象で一口 5,000 円以上

②日赤会費

【総務課】

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長 松浦正敬(市長)

◆平成 30 年度 日赤会費

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	H29 年度実績
普通会費	826 自治会	22,340,480	22,833,167
特別会費	41 件	126,100	133,000
法人会費	103 件	702,000	770,000
募金箱	1 件	1,000	0
計		23,169,580	23,736,167

*普通会費とは 1世帯当たり 700 円以上

*特別会費とは 個人 1 回 2,000 円以上で積立 20,000 円以上

*法人会費とは 企業対象

③共同募金

【総務課・地域福祉課】

共同募金は、「赤い羽根募金」として広く知られています。共同募金は、10月1日から12月31日まで、全国一斉に行われました。

市民の皆様のご理解とご協力をいただき、松江市社協（地区社協）や民間団体の活動などで福祉のまちづくりを展開支援するために行う募金（寄付金）です。

◆平成 30 年度共同募金

(単位：円)

区 分	件 数	金 額	H29 年度実績
戸別募金	788 自治会	23,260,465	23,779,556

街頭募金	47 件	475,092	207,246
法人募金	373 件	1,954,240	1,841,000
学校募金	48 件	818,848	793,595
職域募金	110 件	746,904	705,370
イベント募金	1 件	1,054,644	1,052,208
物品募金	176 件	1,364,802	1,338,942
個人募金・その他募金	79 件	1,232,737	1,397,560
計		30,907,732	31,115,477

◆募金活動

募金種別	内 容
戸別募金	①各地区自治会・町内会連合会長を通して、各地区世帯へ依頼。 ②随時、各公民館区で協力依頼を実施。
街頭募金 (募金箱含む)	①10月1日一斉街頭募金：市内19カ所（参加者250名） ②スサノオマジックホームゲーム 10月14日、11月24日、12月16日（計3回） 場所：松江市総合体育館（高校生・専門学校生参加者 計20名） ③常設募金箱：由志園（八束町）、カフェ太郎（西法吉町）、島根県物産観光館（殿町）、きまち湯治村内3カ所（宍道町） ④運動期間中：スーパーマルマン4店舗、アイパルテ、美保関ビュッフェ、サービス付き高齢者向け住宅 塩見縄手 醫
法人募金	①企業等へダイレクトメール ②本会役職員、事務局による訪問及び協力依頼 ③地区社協選出の募金ボランティアによる訪問及び協力依頼
学校募金	市内小中学校にドラえもん募金箱等を配布し協力依頼。 協力学校へはお礼状送付。
職域募金	図書カード・クオカード等を通じての募金依頼。 市役所、民児協、学校教職員、市内福祉事業所等を通じて依頼。
イベント募金	第70回松江市民余芸大会の開催協力。共同募金ブースを設置。
物品募金	①ギャートルズシリーズのピンバッジを製作。公民館、事務局等を窓口とし募金を呼びかける。 ②ガチャガチャの常設置：松江歴史館、玉造温泉ゆ〜ゆ、堀川遊覧船事務所
個人募金・ その他募金	募金百貨店プロジェクト、赤い羽根自動販売機等

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移

(単位：円)

区 分	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度
社協会費	28,664,712	29,139,754	29,633,651	29,892,961	30,642,837
日赤会費	23,169,580	23,736,167	24,289,976	24,849,460	25,920,270
共同募金	30,907,732	31,115,477	31,946,436	32,852,652	32,647,067
計	82,742,024	83,991,398	85,870,063	87,595,073	89,210,174

1-(4) 研修啓発・講座

【総務課】

①松江市社会福祉大会

事業名等	内 容
松江市 社会福祉大会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 12 : 00～ 会場 島根県民会館 中ホール及びロビー 内容・ロビーイベント <ul style="list-style-type: none"> 作業所、養護学校による物品販売 (6 施設) ・表彰式典 (会長表彰及び感謝状贈呈) <ul style="list-style-type: none"> ○民生委員功労者表彰 6 名 ○福祉推進委員功労者表彰 19 名 ○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰 1 名 ○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰 27 名 ○優良社会福祉施設及び団体表彰 1 団体 ○松江市社会福祉協議会長感謝 7 名 ・パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> テーマ : 「子どもをはぐくむ地域のチカラ」 ～子どもの居場所づくりを通して～ ○コーディネーター 島根大学人間科学部 講師 佐藤 桃子 氏 ○パネリスト のぎ自学室 代表 村上 真奈 氏 <li style="padding-left: 40px;">はらかかの会 代表 武田 信子 氏 <li style="padding-left: 40px;">こども食堂まんまる亭 代表 野波 圭子 氏 <li style="padding-left: 40px;">松江市社会福祉協議会 主事 青山 力 氏 <p>参加者 400 人</p>

②健康福祉フェスティバル

【地域福祉課】

子どもから高齢者・障がい者も含めた市民全体が、健康で生きがいを持って社会参加できるよう、また、あらゆる世代との交流が円滑にできるように、地域等の各種団体の参加と協力を得

て、健康福祉フェスティバルを開催し、高齢者・障がい者等に対するノーマライゼーションの意識づくりと、保健福祉事業の啓発を図りました。

事業名等	内 容
2018 松江市健康福祉 フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 30 年 6 月 10 日（日）9:30～14：30 会場 松江市総合体育館 内容 オープニング：「松江市立湖東中学校吹奏楽部」による演奏 各種コーナー ・健康チェック ・各種体力測定コーナー ・健康体操体験コーナー ・障がい者施設、団体の出店・活動掲示 ・ゆるキャラとの一緒に写真を撮ろう！等 計 29 コーナー 参加団体 47 団体 延入場者数 約 1,800 人

③第 70 回松江市民余芸大会

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・山陰中央新報社との 3 団体共催により開催しました。

この事業の収益金は島根県共同募金会へ全額寄付しました。

事業名等	内 容
第 70 回松江市民 余芸大会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 30 年 12 月 15 日（土）13:00～17:00 会場 島根県民会館 大ホール 出演団体 18 団体 来場者数 約 1,300 人 チケット代 1 枚 1,800 円(当日券 2,000 円) 収益金 1,054,644 円（松江市共同募金委員会へ寄託）

④地域ケア連携推進フォーラム

あったか地域づくり協議会に参画し JA、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、くにびき農業協同組合、地区社協会長会と共同開催をしました。

事業名等	内 容
地域ケア連携推進 フォーラム	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 31 年 3 月 23 日（土）13:30～16:15 会場 JAくにびき営農総合センター 内容 <ul style="list-style-type: none"> ○【フードバンクしまね「あったか元気便」の報告】 報告者 <ul style="list-style-type: none"> 富谷 衡 氏（古志原小学校校長） 竹谷 強 氏（古志原公民館長、あったか元気便準備会代表） 寺本 敏徳 氏（グリーンコープ島根専務理事） 進 行 <ul style="list-style-type: none"> 野津久美子 氏（地域つながりセンター事務局長）

地域ケア連携推進 フォーラム（続き）	○特別講演 演題：【「子どもの貧困について今一度考えよう」】 講師：中塚久美子 氏（朝日新聞大阪本社生活文化部 専門記者） ※参加人数 250 人
-----------------------	--

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの善意の預託（寄付）金品をお預かりし、預託された方の意志に基づき地区社協やボランティアグループ・福祉団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、社会福祉事業の推進に役立てられました。

（収入）

単位：円

区 分	H30 年度		H29 年度	
寄付金収入	967 件	29,646,215 円	1,014 件	29,414,500 円

（支出）

区 分	H30 年度		H29 年度	
福祉団体助成金	31 件	6,262,314 円	37 件	6,207,000 円
地区配分金	29 件	15,056,600 円	29 件	15,720,218 円
地域援助費	67 件	6,510,779 円	76 件	7,133,079 円
指定寄付金	19 件	1,620,000 円	7 件	285,000 円
助成金支出	2 件	40,000 円	3 件	60,000 円
社協事業費支出	1 件	2,964,621 円	1 件	3,091,909 円
事務費支出		1,140,812 円		1,287,774 円
計	149 件	33,595,126 円	153 件	33,784,980 円

（収支）

資金収支差額	△3,948,911 円	△4,370,480 円
次期繰越金	12,728,973 円	16,677,884 円

1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）

【総務課・地域福祉課】

NPO 法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金について公募し、審査を行いました。【平成 30 年度募金（平成 31 年度事業）】

地域福祉活動推進事業（公募配分）

決定総額 2,764,800 円

	申請団体名	事業名
1	特定非営利活動法人 まごころサービス松江センター	市民電話相談
2	特定非営利活動法人 福祉ネットだんだんネ	松江市内の障がい者就労支援事業所に関する情報発信事業
3	やすらぎ喫茶ボランティアの会	「やすらぎ喫茶」ボランティア
4	特定非営利活動法人 おやこ劇場松江センター	第33回 地域子どもフェスティバル 人形劇「やもじろうとはりきち」
5	特定非営利活動法人 プロジェクトゆうあい	障がい児のための音楽ワークショップ 「たのしい楽団」の開催・運営
6	玉造福祉会	玉造地区福祉事業 (児童福祉・高齢者福祉・障がい者福祉)
7	健康忌部 21 推進隊	健康フェスティバル in いんべ 2019
8	八雲ゆう人会	八雲ゆう遊こいのぼり
9	本郷地区福祉会	福祉と健康の里「拝志郷」
10	だんだんパソコン倶楽部	子どもの学習ひろば作り
11	布志名福祉会	布志名地区 地域福祉活動
12	鹿島地区福祉推進委員会	“いいねっ！かしま” 実感プロジェクト 『チリンとドローンのコンサート～子どもも大人も楽しめるひと時を～』
13	湯町福祉会	町内児童・就労支援施設利用者様との交流会 事業
14	松江おもちゃの病院	木材加工体験&電子回路動作勉強会
15	しまね四季の学び舎	松江地区 キッズ・ダイバーシティ・キャンプⅡ
16	すまいりーねっと	いじめや不登校、引きこもりの子どもや若者の居場所～ここから始まるみんなのお家～
17	いけずご王国	子どもを育てる大人のワークショップ 及び野外活動のための小屋掛け事業

2. 地域福祉及び連絡調整の強化

2-(1) 地域福祉の推進

【地域福祉課】

①コミュニティソーシャルワーク（CSW）の展開

個別支援への関わりから地域課題を発見し、その地域課題の解決を目指した地域展開をすすめるため、全ての職員がCSWの意識を持ち、連携して事業に取り組みました。

地域福祉係ではふくしなんでも相談をはじめ、日常の地域活動を通じたアウトリーチなどからつながったケースや、地域包括支援センターなど専門機関からつながったケースに関わりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援や、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。

◆CSWにおけるブロック別の個別支援ケース数

松東	中央	松北	松南1	松南2	湖南	不明
21人	30人	19人	28人	22人	14人	43人

◆CSWにおける個別ケースへの支援状況

支援内容	回数
当事者に直接行った支援	272回
関係機関や関係者に対して行った働きかけ	211回
地域課題の解決のために行った地域への働きかけ	1663回

②地区社協・各種団体との連携

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア) 地区研修会（地区社協と協力して実施）

○福祉推進員の委嘱状交付式にあわせ福祉推進員の目的や役割を説明し福祉推進員活動が各地区の実情に合わせ展開できるように研修会を開催しました。

また、民生児童委員と福祉推進員の合同研修会に参加し、普段からの見守りの視点を共有できる見守りチェックリスト等を活用した研修会を行いました。

イ) 地区活動の支援

○各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について一緒に考え実践しました。特に、各地区で開催されているなごやか寄り合い事業については、各地区で世話人やボランティアとの交流会を開催するなどお互いの情報共有を図りました。

ウ) 民生児童委員協議会への参加

○毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

③地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に

援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、地区社協活動を支援し、地域福祉の推進に寄与しました。

ア) 必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ) 重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

事業名等	内 容	地区数	金 額
必須事業	1 地区社協 100,000 円	29 地区	2,900,000 円
重点・選択事業	1 地区社協 300,000 円	29 地区	8,700,000 円
合計			11,600,000 円

◆重点・選択事業の内容一覧

地区名	重点事業	選択事業
松東エリア	川津	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の集い ・子育て支援事業 ・広報活動
	朝酌	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食、ミニデイサービス ・子育て支援事業・ボランティア養成講座
	本庄	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食サービス
	持田	<ul style="list-style-type: none"> ・配食サービス ・やすらぎ喫茶事業
	島根	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協啓発事業（ふれあい祭）
	美保関	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座の開催 ・子育て支援活動 ・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動
	八束	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業 ・地域交流サロン「どげな会」

地区名		重点事業	選択事業
中央エリア	城北	・健康づくり活動の推進	・ふれあい会食 ・ミニデイサービス ・障がい児(者)社会参加を進める活動 ・第4次地区福祉活動計画の推進に係る研修会の実施
	城西	・健康づくり活動の推進 ・介護予防・閉じこもり予防の推進	・なごやか寄り合い事業 ・子育てサロンの開催
	城東	・健康づくり活動の推進 ・介護予防・閉じこもり予防の推進	・防災に関する事業 ・子育て支援 ・地域福祉計画推進事業
	白潟	・健康づくりの推進事業 ・介護予防、閉じこもり予防の推進事業	・なごやか寄り合い事業 ・友愛訪問 ・広報啓発活動事業 ・子育て支援事業 ・障がい児(者)の社会参加を進める活動
	朝日	・地域で支えあい閉じこもり予防、 介護予防の促進 ・健康づくりの推進	・地域ふれあい活事業 ・障がい児(者)の社会参加を進める事業 ・地区社協関係者合同研修会 ・情報誌の発行
	雑賀	・健康づくり事業 ・地域の支え合いづくり事業 ・ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会)	・公民館喫茶「憩い館」
松北エリア	古江	・健康づくり活動の推進 ・なごやか寄り合い支援事業	・古江給食サービス
	秋鹿	・なごやか寄り合い	・高齢者すこやかふれあい大会 ・そよかぜ交流会・弁当配食 ・湖北だんごの会支援事業
	大野	・介護予防・閉じこもり予防の推進 ・健康づくり活動の推進	・ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業) ・高齢者との交流事業(愛のプレゼント訪問) ・乳幼児教学級(きらきら学級) ・配食サービス ・社協だよりの発行
	法吉	・健康づくり・認知症対策	・自治会福祉対策に対する支援事業
	生馬	・元気で長生き道場	・情報誌の発行 ・高齢者の方の社会見学 ・子育て支援 ・配食サービス ・高齢者世帯及び身障者の福祉調査 ・町内ミニデイサービス ・年末見舞い

地区名	重点事業	選択事業	
鹿島	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿島地区健康づくり事業 ・男性介護者交流会 ・なごやか世話人活動支援事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の発行 ・子育て支援事業 	
松南1エリア	津田	<ul style="list-style-type: none"> ・心とからだの健康づくりの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア喫茶 ・友愛訪問 ・つだ福祉だよりの発行
	大庭	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者ふれあい運動会 ・高齢者福祉講座、研修会、健康講座 ・閉じこもり予防活動 友愛訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会 ・あそび広場 ・「おおば福祉だより」の発行 ・巡回相談室の開催
	古志原	<ul style="list-style-type: none"> ・安全安心見守り事業 ・介護予防・健康推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉ネットワーク事業 ・広報事業
松南2エリア	竹矢	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり講座 ・介護・生活習慣病予防講座 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援
	八雲	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食サービス
	東出雲	<ul style="list-style-type: none"> ・健康まつえ 21 推進事業 ・乳幼児期健康づくり活動の推進 ・なごやか寄り合い研修会事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者安否確認事業
湖南エリア	乃木	<ul style="list-style-type: none"> ・乃木さんあい健康教室 ・男の料理教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい弁当サービス ・地域福祉事業
	忌部	<ul style="list-style-type: none"> ・保健協力員・福祉推進員・健康忌部 2 1 推進隊研修会 ・大人の広場（高齢者の交流の場づくり） ・情報交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやか交流会（ミニデイ） ・年越しそば配食サービス
	玉湯	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防、閉じこもり予防活動の推進 ・健康づくり活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・配食・会食サービス ・子育て支援事業
	宍道	<ul style="list-style-type: none"> ・にこにこサロン（脳活性化・転倒予防教室） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食サービス ・シルバーレクリエーション （一人暮らし高齢者外出レクリエーション）

④地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

○地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（3回）・幹事会（2回）の開催に協力しました。

○平成30年11月21日（水）に開催された3団体合同研修会に地区社協事務局として協力し公民館館長会、自治会連合会との連携を図りました。（地区社協会長会27名参加）

○各地区社協会長のスキルアップと相互の交流を図るため平成30年8月2日(木)～3日(金)に兵庫県神戸市「コミュニティ・サポートセンター神戸」「人と防災未来センター」での視察研修を行いました。

⑤福祉推進員代表者会

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました

◆代表者会・研修会

事業名等	内容
代表者会 第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年6月13日(水) 14:00～15:00 ・会場 松江市総合福祉センター(教養室) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・役員について ・平成30年度事業計画(案)について ・参加人数 24名
代表者会 第2回	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年10月17日(水) 14:00～15:00 ・会場 松江市総合福祉センター(身障者研修室) ・内容 新聞配達員による見守り活動への協力について ・参加人数 20名
代表者会 第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成30年12月12日(水) 10:00～11:00 ・会場 松江市総合福祉センター(身障者研修室) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉推進員活動証について ・福祉推進員ブロック連絡会について ・参加人数 20名
代表者会 第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成31年3月27日(水) 10:00～11:00 ・会場 松江市総合福祉センター(身障者研修室) ・内容 <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業報告について 平成31年度事業報告について ・参加人数 23名

⑥福祉推進員研修会

ア) 福祉推進員初任者研修会の開催

新任の福祉推進員及び参加を希望される再任の福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割、関係機関(市社協、地区社協、包括支援センター等)の役割や連携についての説明を行いました。

また、市内の2地区の福祉推進員の方から日頃の活動事例の発表をしていただき、福祉推進員の役割について理解を深めていただきました。

◆福祉推進員初任者研修会

事業名等	内容
福祉推進員初任者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成 30 年 6 月 23 日(土) 13:30～16:00 ・会場 島根県民会館（中ホール） ・内容 【活動報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・玉湯地区 石本 彰 氏 ・大庭地区：勝部 隆 氏 【講演会】 <ul style="list-style-type: none"> 「地参・地笑の暮らしづくりに向けて — みんなでつくろう、未来への贈り物 — 」 講師：美作大学 生活科学部 社会福祉学科教授 小坂田 稔 氏 ・参加人数 216 名

イ) 福祉推進員ブロック研修会の開催

事例を通して地域の中で困り感を抱えた方に対してどのようなかわりをしていくか、また、相談先としてどのような機関があるのかを学ぶため、グループワークを開催しました。

◆福祉推進員ブロック研修会

事業名等	内容
ブロック研修会	<p>日時・参加地区・参加人数 ※会場はすべて松江市総合福祉センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松南ブロック 平成 31 年 1 月 23 日（水）13:30～15:30 津田・大庭・古志原・竹矢・八雲・東出雲 17 名参加 ・松東ブロック 平成 31 年 1 月 25 日（金）13:30～15:30 朝酌・川津・持田・本庄・島根・美保関・八束 27 名参加 ・松北ブロック 平成 31 年 1 月 30 日（水）13:30～15:30 古江・秋鹿・大野・法吉・生馬・鹿島 23 名参加 ・湖南ブロック 平成 31 年 2 月 1 日（金）13:30～15:30 乃木・忌部・玉湯・宍道 21 名参加 ・中央ブロック 平成 31 年 2 月 12 日（水）13:30～15:30 城北・城西・城東・白潟・朝日・雑賀 33 名参加 <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「冰山モデル：安心して暮らせるまち」 なんでも相談から支援した事例について説明。 ・グループワーク

⑦あったかスクラム事業の支援

特別な支援が必要な子どもたちの余暇活動・親の会の活動支援、また、地域交流や支援体制の仕組みづくりを推進しました。

ア) 障がいのある子どもとその保護者への支援

- あったかスクラム事業の支援を行い、継続して活動が出来るように支援
- 事業計画会議や親の会、子どもたちの活動に参加し情報を提供
- あったかスクラム事業新規立ち上げの支援
- あったかスクラム事業のPR（パンフレット配布、市社協だよりにて活動紹介）
- 地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

イ) ふれジョブの支援

- 地区のふれジョブ定例会等に参加、企業・学校への協力依頼
- ふれジョブのコーディネート
- 地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

*ふれジョブとは・・・

地域の人がボランティアでジョブサポーターとなり、学校から地域の企業に毎週1回、障がいのある子とともに、1時間程度就労体験し、障がいのある子もそうでない子も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るための活動です。

ウ) 2018 健康福祉フェスティバルのブース出展

あったかスクラムの活動の市民啓発を目的に、2018 健康福祉フェスティバルでのブース出展を行った。

◆ブース出展・情報交換会

事業名等	内容
ブース出展	<p>●2018 健康福祉フェスティバルのブース出展</p> <p>【日時】 平成 30 年 6 月 10 日(日) 9:30～14:30</p> <p>【会場】 松江市総合体育館</p> <p>【内容】</p> <p>①あったかスクラムの活動についてのポスター展示</p> <p>②ポケットティッシュ配布</p> <p>③物品販売（綿菓子・飲み物）</p> <p>島根大学福祉コースの学生ボランティア 5 名参加</p>
情報交換会	<p>●平成 30 年度あったかスクラム情報交換会</p> <p>【日時】 平成 31 年 3 月 18 日(月) 10:00～12:00</p> <p>【会場】 松江市総合福祉センター 4 階</p> <p>【内容】</p> <p>①グループ情報交換会</p>

情報交換会（続き）	（それぞれの地区、会の状況について事前にアンケートを依頼。） ②全体で各グループの発表 【対象者】 地区社協関係者、民生児童委員、福祉推進員、サポーター、ボランティア、 あったかスクラム代表者、市内特別支援学校関係者、保健センター（保健師）、 知的障がい児・者の相談員、 参加人数 28人
-----------	---

2-(2) 緊急事案への対応

【地域福祉課】

①生活再建おうちクリーニング事業

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身の整理整頓、衛生的な生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を4件実施し、自立に向けた支援を行いました。

年度	登録者数
H30年度	4件
H29年度	4件
H28年度	2件

2-(3) 広域福祉事業の推進

【生活支援課】

①福祉サービス利用援助事業の推進

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談・問合せ件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
H30年度	1,072件	2,188件	1,886件	29件	5,175件
H29年度	1,361件	1,924件	1,455件	82件	4,822件
H28年度	1,633件	2,004件	1,280件	64件	4,981件

◆契約締結人数

() 内は年度内契約件数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
H30年度	157名(8)	134名(7)	92名(2)	5名(0)	388名(17)
H29年度	149名(1)	127名(6)	90名(3)	5名(1)	371名(11)
H28年度	148名(9)	121名(6)	87名(1)	4名(0)	360名(16)

◆現在の実利用人数

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計
H30年度	18名	74名	33名	2名	127名
H29年度	16名	67名	37名	2名	122名
H28年度	26名	66名	35名	1名	128名

「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
H30年度	63名	39名
H29年度	65名	42名
H28年度	66名	40名

◆生活支援員研修会

事業名等	内容
研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日 時 平成30年12月7日(金) 9:30~12:00 会 場 松江市社会福祉協議会 4階 内 容 講義 「精神障がいの特性と対応について」 講師 日本相談支援専門員協会理事 東 美奈子 氏 グループ討議 参加者 30名

②法人成年後見事業

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移

年度	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	計
H30年度	6件(後見)	3件(保佐・後見)	4件(後見・監督)	13件
H29年度	4件(後見)	5件(保佐・後見)	1件(後見)	10件
H28年度	3件(後見)	6件(保佐・後見)	1件(保佐・後見)	10件

◆法人後見支援員の配置状況

年度	登録者数	内活動者数
H30年度	2人	1人
H29年度	2人	1人
H28年度	2人	2人

③市民後見人等養成事業

ア) 市民後見人等養成講座（実務編）の実施 修了者6名（28.5単位+レポート作成2）

開催日	時間	科目	担当
①6月30日(土) 総合福祉センター 1F会議室	10:00 ~ 10:30	開講式	市、社協
	10:30 ~ 12:00	成年後見の実務 申立手続き書類作成	法テラス島根 弁護士 澤田 博和氏
	13:00 ~ 15:00	対人援助の基礎	松江市暮らし相談支援センター 主任相談員 奥原 宏幸氏
	15:00 ~ 15:30	体験実習説明	生活支援課
②7月7日(土) 総合福祉センター 1F会議室	8:50 ~ 10:20	地域福祉の現状と課題	地域福祉課 地域福祉係長 池田 圭介氏
	10:30 ~ 12:30	家庭裁判所の役割	松江家庭裁判所 主任書記官 大野 圭二氏
③7月14日(土) 総合福祉センター 1F会議室	13:30 ~ 15:00	成年後見の実務 身上監護の実務・知識	法テラス島根 弁護士 桑原 慶氏
	15:10 ~ 16:40	成年後見の実務 後見事務終了時の手続き	
④7月21日(土) 総合福祉センター 1F会議室	9:00 ~ 11:00	成年後見の実務 財産目録作成 後見計画・収支予定表作成	法テラス島根 弁護士 澤田 博和氏

④7月21日(土) (続き)	11:10 ~ 12:40	成年後見の実務 報告書作成	
⑤7月	平日3時間	体験実習	生活支援課
⑥7月	平日4時間	体験実習	障がい者施設、 高齢者施設
⑦平成30年 7月28日(土) 総合福祉センター 1F会議室	9:00 ~ 15:00	成年後見の実務 課題演習	法テラス島根 弁護士 桑原 慶氏 弁護士 澤田 博和氏
	15:10 ~ 16:40	地域の現状	松江市福祉総務課
	16:40 ~ 17:10	閉講式	市、社協

※レポート作成 (A4用紙1枚程度)

- ① 「施設体験実習報告」 ② 「自分で描く市民後見人像とは・・・」

イ) 市民後見人等養成講座(基礎編)の実施 修了者 6人(13単位)

◆市民後見人等養成講座(基礎編)プログラム

講座	月 日	項 目	時 間	担 当
講 座 1	11月10日(土) 福祉センター 1階会議室	開講式	10:00~10:10	松江市社協生活支援課
		成年後見制度(法人後見)、 市民後見人等養成講座事業 説明	10:10~10:35	
		成年後見制度DVD研修	10:35~11:10	
		日常生活自立支援事業の 実際(DVD研修)	11:15~12:00	松江市社協生活支援課
		成年後見制度概論 (心構え) 成年後見人の業務	13:00~16:00 (休憩含む)	法テラス島根法律事務所 弁護士 澤田 博和氏
講 座 2	11月17日(土) 福祉センター 1階会議室	消費者被害への対応	9:30~10:10	島根県消費者センター 消費生活相談員
		障がい者制度と福祉 サービス	10:15~10:55	松江市障がい者福祉課 障がい者福祉係長 有間 智雄氏

講座 2	11月17日(土) (続き)	障がい者の特性と理解(知的障がい、精神障がい)	11:00~12:00	まつえ障がい者サポート ステーション絆 梶谷 余裕氏
		認知症高齢者の特性と理解 介護保険制度のしくみと内容	13:00~15:00	地域包括ケア推進課 湖南地域包括支援センター サテライト 社会福祉士 錦織 満氏
講座 3	11月23日(金) 福祉センター 1階会議室	申立支援 任意後見人の業務 就任直後の職務 就任中の職務 任務終了に関する事務	13:00~16:30 (休憩含む)	法テラス島根法律事務所 弁護士 澤田 博和氏
		市民後見人等の役割と連携	16:30~16:50	松江市社協生活支援課
		閉講式	16:50~17:00	

ウ) 市民後見人バンク登録 登録者 10名

松江市市民後見人等養成講座修了者で大会の市民後見人バンク運営基準を満たした方に市民後見人バンクに登録していただいています。1名が新たに登録されました。

エ) 成年後見制度講座の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか?成年後見制度」をテーマに成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。

事業名等	内容
成年後見制度啓発 事業	日時 平成31年2月10日(土) 13:30~15:00 会場 いきいきプラザ島根 内容 成年後見制度講座「ご存知ですか?成年後見制度」 講師 弁護士 澤田博和 氏(法テラス島根法律事務所) 参加者 34人

④市民後見人養成講座フォローアップ・生活支援員研修

市民後見人養成講座修了者、生活支援員を対象にフォローアップ講座を行いました。

期 日 平成30年12月7日

内 容 講師 東 美奈子 講演「精神障がいの特性と対応について・グループ討議」

参加者 生活支援員(内市民後見人養成講座修了者9名)

⑤市民後見人育成・活用に向けての勉強会

市民後見人の受任に向けて、家庭裁判所、松江成年後見センター、松江市、松江市社会福祉協議会の4者で意見交換を行いました。

第1回 平成30年12月3日 場所 松江家庭裁判所

第2回 平成31年1月16日 場所 松江家庭裁判所

第3回 平成31年2月19日 場所 松江家庭裁判所

第4回 平成31年3月27日 場所 松江家庭裁判所

3. ボランティア活動及び福祉教育

3-(1) コーディネート機能強化、見直し

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

登録ボランティア分類	H30年度	H29年度	H28年度
個人ボランティア	106名(30)	193名 (11)	191名
団体ボランティア	77団体(6)	109団体 (2)	104団体

() は新規登録者(団体)数

※平成29年度末に継続意向調査を実施し、平成30年度に再登録手続きをしたことから、個人団体とも登録数が減となっています。

◆ボランティアの斡旋実績

利用状況	H30年度	H29年度	H28年度
派遣依頼数	217件	197件	234件
派遣団体数	106団体	134団体	103団体
個人ボランティア延派遣者数	153人	107人	195人
コーディネート数	180件	197件	227件
キャンセル・該当者なし	37件	35件	7件

◆市民の相談機関・団体等へのニーズ調査

くらし相談支援センター、障害者サポートステーション絆、地域包括支援センター等社協相談機関、市生活福祉課と連携し必要に応じてボランティアのコーディネートを行いました。

◆施設との情報交換会の開催

ボランティア受け入れ施設等と個別に情報交換を行いました。

3-(2) ボランティアの育成、養成

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

①育成研修

①-1 サマーチャレンジボランティア 2018（高校生ボランティア育成研修）

※30年度は下記の下記の予定で計画を立て実施する予定でしたが台風接近のため急遽中止となりました。

実施期間：平成30年7月29日（日）

内 容：①災害ボランティア研修（日赤島根県支部協力）

②非常食体験（炊き出し訓練）

③福祉学習（手話学習）

参加者数：

H30年度	H29年度	H28年度
22名（予定）	12人	37人

高校生のボランティア体験：11名参加（実施）

児童館（5名）、障がい者福祉施設（2名）保育所（4名）

①-2 あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア)「あいサポートメッセンジャー」の育成

○メッセンジャー育成研修（島根県主催）に参加しました。

○松江市内のメッセンジャー登録者（177名）に対し、派遣依頼調査、名簿整理を行いました。

イ) あいサポーター研修の受付・推進

○企業、団体等に対してメッセンジャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・36団体 受講人数・・・925人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

団体種別	団体数	団体種別	団体数
小学校	2	福祉施設・医療機関	6
中学校	1	行政関係	8
高 校	1	その他	15
企 業	3	合計	36

②養成研修

○平成30年度ボランティア養成研修の開催

「ゆうあいヘルプサービス」協力者養成の研修として年度内に5回開催しました。

受講終了者に「ゆうあいヘルプサービス」協力会員に登録依頼を実施し、2名が新規登録をされました。

プログラム

講座	開催日・会場	項目	講師
第1回講座	9月28日(金) 総合福祉センター (参加者12名)	○「市民(あなた)ができるボランティアとは」	島根大学 仲野教授
第2回講座	10月29日(月) 総合福祉センター (参加者15名)	○「高齢者とのかかわりについて」	豊心会 武部副理事長
第3回講座	11月29日(木) 総合福祉センター (参加者17名)	○「障がい者とのかかわりについて」	さくらの家 浪花施設長
第4回講座	1月10日(木) 総合福祉センター (参加者13名)	○「ゆうあいヘルプサービスの内容について」	市社協職員
第5回講座	2月8日(金) 総合福祉センター (参加者14名)	○「ゆうあいヘルプサービス事例検討」	市社協職員

③ボランティア登録時研修

新規登録者30名が登録される際に随時「ボランティアの心得」を説明しました。

3-(3) ボランティアの活動支援

①ボランティアルームの開放及び備品の貸出し及び保険の加入促進

◆ボランティアルーム利用状況

利用状況	H30年度	H29年度	H28年度
実利用日数	185日	209日	211日
延べ利用団体数	201団体	228団体	283団体
延べ利用人数	1,195名	1,293名	1,301名

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

貸出機材	H30 年度	H29 年度	H28 年度
印刷機	140 件	159 件	151 件
コピー機	72 件	71 件	67 件
車椅子	69 件	108 件	113 件
アイマスク	4 件	5 件	6 件
その他 (OHP、資料図書等)	21 件	41 件	45 件

◆ボランティア保険の加入促進

ボランティア保険種類	H30 年度	H29 年度	H28 年度
ボランティア活動保険	7,668 名	8,112 名	9,227 名
ボランティア行事用保険	699 件	557 件	420 件
福祉サービス総合補償	14 件	14 件	14 件
送迎サービス補償	4 件	3 件	4 件

②松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

◆松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

分類	H30 年度	H29 年度	H28 年度
健康・福祉・まちづくり	32 団体	45 団体	35 団体
子ども・青少年・人権	21 団体	13 団体	22 団体
文化・芸術・スポーツ・レクリエーション・国際・情報	34 団体	34 団体	37 団体
計	87 団体	92 団体	94 団体

○主な活動 5月23日 松江市ボランティア連絡協議会総会

6月3日 街美化ウォーク開催

3月3日 松江市ボランティアフェスティバル開催

その他、役員会、部会等の開催(随時)

③企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援

○加入者数 企業会員 67 企業 個人会員 67 名

○主な活動 9月5日 企業ボランティア松江ネットワーク会議総会・講演会開催
 松江市民余芸大会協力(チケット販売)、美化活動(水郷祭時の清掃等)、
 赤い羽根共同募金街頭募金活動、水燈路の行燈協力、だんだん夏踊りへの協力、
 機関紙の発行、ボランティアフェスティバルへの協力

3-(4) 福祉教育の推進

福祉教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

◆福祉学習推進の支援（講師派遣数）

区 分	H30 年度	H29 年度	H28 年度
学校関係	20 回	22 回	21 回

宍道高校（2回）、松江女子高（1回）、宍南高校（1回）、美保関中（1回）、湖北中（1回）、玉湯中（1回）、本庄中（2回）、松江1中（1回）、松江3中（2回）、八束学園（1回）、川津小（1回）、持田小（1回）、美保関小（1回）、大庭小（1回）、法吉小（1回）、津田小（2回）

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化

ホームページの充実や相談受入の充実につとめました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年2回（5月・10月）発行しました。

◆ホームページの充実は必要に応じ更新しました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ、ベルマーク等受付）

区 分	H30 年度	H29 年度	H28 年度
受付件数	82 件	67 件	81 件

◆第14回松江市ボランティアフェスティバルの開催

事業名等	内 容
第14回 松江市ボランティ アフェスティバル	<p>テーマ 広がれボランティアの輪 ～防災は日頃のよりそい支えあい～</p> <p>日 時 平成31年3月3日(日)</p> <p>会 場 松江市総合福祉センター全館</p> <p>主 催 第14回松江市ボランティアフェスティバル実行委員会</p> <p>構成団体 松江市ボランティア連絡協議会 企業ボランティア松江ネットワーク会議 松江市社会福祉協議会（松江市ボランティアセンター）</p> <p>内容 ○各種団体の展示・体験・販売・ステージ発表 （城西幼保園、松江一中、松江農林高校、ボランティア団体、福祉作業所、自衛隊、松江警察署 等） ○高校生による「未来のまつえ」プレゼンテーション ・松江北高・松江南高・松江商業高・松江市立女子高</p> <p>参加者 約1,000人（来場者800人、ボランティアスタッフ200人）</p>

◆松江市ボランティアセンター雪かきボランティア募集

冬期の積雪による除雪作業は、一般市民においても負担となっており、特に高齢者世帯や要支援者世帯の日常生活に大きく影響することから、事前に除雪困難な方々の生活支援を目的にボランティア募集を行いました。天候の関係から需要がありませんでした。

3-(6) 松江市まめなかポイント事業実施

市の委託事業として、65歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度
個人登録者数	123名(60名)	96名
団体(なごやか寄り合い)登録数	222団体(25団体)	207団体
受入施設登録数	45施設(8施設)	37施設

() 内は新規登録者数

4. 在宅生活支援事業の推進

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み

①地域包括支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

地域包括ケアシステムを推進するために、介護支援専門員の支援を重点的に取り組みました。

高齢者の介護予防・自立支援・重度化予防に向けて、高齢者を支援している介護支援専門員を対象に、包括主催の「松江市個別地域ケア会議 10 回」、「松江市事例検討会 7 回」「包括公開講座 2 回」開催し、松江市と共に「介護予防ケアマネジメントマニュアル」を改定し研修会で周知し、介護予防ケアマネジメントの質の向上を図りました。平成 30 年度は、松江市内で介護予防や自立支援を実践し効果を上げておられる事業所の活動報告やデイサービスを卒業し地域の活動を再開された高齢者の体験談を報告して頂きました。

また、介護支援専門員と地域の見守り活動をされている民生児童委員等と顔が繋がったり、なごやか寄り合いや地域のインフォーマルサービスを活用しながら、地域とつながりながら高齢者の支援ができるように、地区単位の「ケアマネと民生児童委員等との情報交換会」を開催したり、高齢者お役立ち情報の更新や活用の周知をしました。

包括のエリアごとに開催されいている医療介護等の多職種連携会議の運営や支援を行い、事例検討や地域の課題等について話し合いました。包括エリアごとの医療・介護等の関係者の連携もできてきました。

また、地域ケア会議や高齢者の実態把握訪問等から見えてきた地域共通の課題については、解決に向けて松江市地域ケア推進会議や地区の地域福祉活動計画策定会議等に報告しました。認知症の相談も増え、徘徊で行方が分からなくなった高齢者の情報を SOS 見守りネットワークでメール送信をすることが増えていきます。数日経ってから発見されるケースもあり、早期に発見できる方法について他市町村の対策を調査研究して、来年度社協独自の自主事業として「認知症高齢者の GPS 端末機を活用したサポート体制検証事業」を実施することになりました。

■重点事業

ア) 地域におけるネットワークの構築(包括的・継続的ケア体制の構築)

○地区社協、公民館、自治会、民生児童委員、福祉推進員、住宅供給公社、警察、障がい相談事業所、介護支援専門員等と情報交換会等を開催し連携を図り、早期発見・見守り・

支え合いの活動など、地域の福祉関係者と協働できる体制づくりを行いました

- 地域包括支援センターの役割・機能について、包括だより・社協だより等を用いて、市民や関係機関へのPRを行ないました。
- ホームページの高齢者お役立ち情報の更新を行い、スマートフォン対応ができるようになり社協だよりやチラシを作成しPRをしました。
- 医師会とケアマネ協会との合同研修会や各包括エリアの多職種連携会議の開催支援を行ない、医師とケアマネジャー等の顔の見える関係づくりや、多職種の連携構築を図りました。今年度は、中央エリアで城西地区多職種連携会議を公民館・地区社協・在宅医療・介護連携支援センターと共に立ち上げました。

イ) 地域ケア会議の計画的な実施

- 松江市個別地域ケア会議に各職能団体から助言者として参加いただき、よりよい支援ができるように検討し介護支援専門員のケアマネジメント力向上を図りました。また、半年後に評価会議を開催し、高齢者の変化や検討事項の経過・効果を確認し協議しました。
- 個別地域ケア会議から見えてきた地域課題については、松江市地域ケア推進会議や地区の地域活動計画作成委員会、第2層協議体で報告しました。
- 年度末に、松江市個別地域ケア会議の助言者の皆さんと、検討資料の帳票や会議の運営方法、来年度の計画等について意見交換を実施しました。

ウ) 高齢者虐待の防止および対応

- 「松江市高齢者虐待の防止と早期発見のてびき」を市と共に作成し、施設・事業所等で高齢者虐待防止の研修会等で活用して頂けるようにブロック連絡会で周知しました。
- 毎月の虐待困難事例検討会で県高齢者虐待専門職チーム(社会福祉士)、行政保健師と共に対応を検討しました。
- 昨年度作成した「松江市高齢者虐待対応マニュアル」の流れに基づいて、市・介護支援専門員・主治医・サービス事業所等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。
- 松江市高齢者虐待等対策検討会(年2回)への事例提出及び医師・弁護士・成年後見センターと協議を行ないました。
- 市民・関係機関へ包括だより、社協だより、ブロック連絡会等を通じて虐待防止の周知を図りました。

エ) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進

- 総合事業の制度やサービスについて、説明用リーフレットを活用し住民へ周知を行ないました。
- 市と共に「松江市介護予防ケアマネジメントマニュアル」の見直しを行い、9月に「介護予防ケアマネジメントに係る研修会」で周知され、実際に通所介護を卒業された高齢者に実体験をお話しいただきました。

○介護支援専門員・サービス事業所等を対象に包括公開講座で、10月「高齢者の介護予防・自立支援の取り組みの実践報告4事例」、3月「自立支援に向けた介護予防研修会」を開催し、介護予防マネジメントの質の向上に取り組みました。

オ) 認知症対策支援の取り組み

- 認知症初期集中支援チームとの連携し、認知症又はその疑いがある方が医療や介護サービスにつなげることができました。
- 「若年性認知症の相談のてびき」を作成し、相談対応ができるようにしました。
- 徘徊高齢者が増える傾向にあり、早期に発見できる方法を調査研究し、来年度からGPS端末機の貸し出し効果を検証することになりました。

◆相談件数

区分	相談件数		相談実利用者		新予防給付管理 プラン数(3月末)		地域支援活動 会議参加回数	
	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29
中央地域包括	2,707	2,638	552	585	501	461	206	219
松北地域包括	2,294	1,806	356	273	327	327	166	200
松東地域包括	3,256	3,213	505	550	445	397	320	334
湖南地域包括	2,444	3,089	472	557	351	332	254	266
松南第1地域包括	2,688	2,392	525	572	487	453	129	160
松南第2地域包括	2,159	2,093	407	471	297	266	126	201
計	15,548	15,231	2,817	3,008	2,408	2,236	1,201	1,380

◆相談延件数

年度	虐待	処遇 困難	認知症	成年 後見	権利 擁護	実態 把握	介護保 険関係	自立支援 サービス	インフ オーマ ル	その他
H30	311	51	1,560	108	212	3,778	9,677	75	238	2,218
H29	428	88	1,674	92	155	3,432	9,781	51	226	2,184

◆ケアマネジャー支援の件数

区分	相談件数	
	H30	H29
中央地域包括	119	322
松北地域包括	83	111
松東地域包括	155	215
湖南地域包括	98	141

松南第1地域包括	213	154
松南第2地域包括	109	84
計	777	1,027

◆公開講座

事業名等	内 容
公開講座 第1回	<p>●日時 平成30年10月26日(金) 13:30～15:00 会場 松江市総合福祉センター 内容 講演『高齢者の自立支援・介護予防への取り組みについて』 ～市内の実践報告を交えて～ 実践報告 あおぞら八重垣デイサービス 加藤 敦史 氏 株式会社さんびる 飯塚 彩華 氏 ザ・転ばん・ズ 太田 えり子 氏 もちだの郷 石川 節子 氏 講師 松江市・島根県共同設置松江保健所 所長 村下 伯 氏 参加者数 141人</p>
第2回	<p>●日時 平成31年3月13日(水) 13:30～16:30 会場 いきいきプラザ 内容 講演『自立支援に資する介護予防ケアマネジメント』 ～ICFの視点から振り返る～ 講師 広島県地域包括ケア推進センター 次長 望月マリ子 氏 参加者 72人(演習があり、講師の意向で参加定員あり)</p>

◆ブロック連絡会

事業名等	内 容
ブロック連絡会 第1回	<p>●日時 平成30年4月23日(月) 13:30～16:00 会場 松江市総合福祉センター 内容 松江市、保健所、地域包括支援センター等から情報提供 参加者数 226人</p>
第2回	<p>●日時 平成30年9月21日(金) 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 内容 「家族支援」をテーマに事例検討 参加者数 27人</p>
第3回	<p>●日時 平成31年2月26日(火) 13:30～15:00 会場 松江市総合福祉センター 内容 ①松江市高齢者虐待防止と早期発見のてびきについて 松江市健康政策課 森脇保健師 ②司法の立場から「高齢者虐待について」 講師 岡崎法律事務所 弁護士 鳥居 竜一 氏 参加者数 125人</p>

◆松江市事例検討会

事業名等	内 容
松江市事例検討会	●日時 平成 30 年 5 月 17 日(木) 13:30～15:45 会場 松江市総合福祉センター 参加者数 26 人 (事例検討の勉強会)
第 1 回	
第 2 回	●日時 平成 30 年 7 月 17 日(火) 13:30～15:30 会場 いきいきプラザ 参加者数 43 人 (橋南エリア 4 事例)
第 3 回	●日時 平成 30 年 7 月 20 日(金) 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 参加者数 36 人 (橋北エリア 4 事例)
第 4 回	●日時 平成 30 年 11 月 19 日(月) 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 参加者数 50 人 (橋南エリア 4 事例、橋南エリア 4 事例)
第 5 回	●日時 平成 30 年 11 月 22 日(木) 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 参加者数 53 人 (橋北エリア 4 事例)
第 6 回	●日時 平成 31 年 1 月 23 日(水) 13:30～15:30 会場 いきいきプラザ 参加者数 39 人 (橋南エリア 4 事例)
第 7 回	●日時 平成 31 年 1 月 24 日(木) 13:30～15:30 会場 福祉センター 参加者数 47 人 (橋南エリア 4 事例)

◆虐待困難事例検討会

事業名等	内 容
虐待困難事例検討会	●日時 全 11 回 毎月 1 回開催実施 13:30～15:30 会場 松江市総合福祉センター 内容 助言者を招き、包括内におけるスキル向上のための事例検討会 検討事例 14 事例 経過報告事例 12 事例

◆地域ケア会議

事業名等	内 容
各包括での地域ケア会議	個別ケースの情報共有や対応等、地域課題について地域の関係者を含めて開催した。 個別課題の検討 開催回数 96 回 参加者数 延 567 人 地域課題の検討 開催回数 27 回 参加者数 延 279 人

松江市個別地域ケア会議	<p>多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図った。</p> <p>参加者 介護支援専門員(事例提出者)</p> <p>助言者 薬剤師、訪問看護師、リハビリ専門職(PT OT ST いずれか1名)、歯科衛生士、管理栄養士、臨床心理士、主任ケアマネ、保健師、社会福祉士、社協 CSW(兼務、生活支援コーディネーター)</p>
第1回	<p>●日時 平成30年6月14日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(松東エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第2回	<p>●日時 平成30年6月21日(金) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(湖南エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第3回	<p>●日時 平成30年8月23日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(中央エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第4回	<p>●日時 平成30年8月30日(水) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(松南第1エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第5回	<p>●日時 平成30年10月18日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(松北エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第6回	<p>●日時 平成30年10月25日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(松南第2エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第7回	<p>●日時 平成30年12月13日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(橋北エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
第8回	<p>●日時 平成31年2月14日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(橋南エリア)</p> <p>検討事例 3事例</p>
評価会議	
第1回	<p>●日時 平成30年12月20日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(6月検討事例)</p> <p>検討事例 6事例</p>
第2回	<p>●日時 平成31年2月21日(木) 13:30~15:30</p> <p>会場 松江市総合福祉センター(8月検討事例)</p> <p>検討事例 6事例</p>

②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

【地域包括ケア推進課】

平成 29 年 4 月に在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されました。

高齢者の方は入退院を繰り返したり、一時期施設入所をされたりと、療養場所の変化はありますが、どの場所で療養をされても自分らしい生活を続けていくためには、切れ目のない医療と介護の連携の体制が必要となります。

そこで、病院に入院した際の支援について、市内の病院の入退院支援担当者が集まる「松江市病病連携推進会議」を 4 回開催し、地域医療・介護連携に関係する課題及び情報を共有しました。

また、近年市内で開設が増えているサービス付高齢者向け住宅の現状などについても、医療と介護の関係者の合同研修を通して理解が深まるよう取り組みました。

また、医療・介護関係者の連携だけではなく、主役である地域住民の方に、在宅医療や介護についての理解を深めていただくため、「市民講座」を開催し、地域の方や専門職の協力を得ながら寸劇を通して終末期ケアの現状などについて周知しました。

◆地域の医療・介護資源の把握

- 地域の医療機関、介護事業所の住所、機能等が紹介されているホームページなどをまとめ、社協ホームページに「地域の医療・介護リンク集」として掲載しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

- 市内 7 か所で開催されている「多職種連携会議」の活動状況の把握と、中央圏域（城西地区）の多職種連携会議の立ち上げの支援を行いました。
- 訪問看護の利用者が病院に入院した際に、訪問看護ステーションから病院に必要な情報を提供するための共通書式「訪問看護の状況（療養に係る情報）提供書」の運用の支援を行いました。
- 医療・介護関係者に周知したい情報について広報誌「RENKEI」を年 4 回発行しました。
- 「松江の栄養・食事に関する連携を考える会」に情報提供し、栄養や食事に関する連携がとれるよう活動支援を行いました

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

- 医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。
- 医療介護関係者の方からの相談をお受けしながら、地域の実情に合わせた在宅医療と介護の連携体制が構築できるよう、情報提供や連携コーディネートに取り組みました。

◆相談内容

内容	支援 在宅療養	連携 医師との	連携 介護との	退院支援	病院の入	所支援	施設の入	資源 医療・介護	その他	合計
H30	38	18	23	12	6	55	44	196		
H29	39	18	3	14	13	27	19	131		

◆相談経路

相談者	ケアマネ	医師	病院	訪問看護	歯科	薬剤師	PT OT ST	サービス 事業所	行政	市民	包括	その他	合計
H30	19	11	39	8	0	9	0	0	14	5	27	15	147
H29	17	3	14	11	0	3	1	3	7	4	23	10	96

◆医療・介護関係者の研修

- 市内各団体が開催する研修についてホームページ上に「研修カレンダー」を作成し、月2回更新し、周知しました。
- 「診療報酬と介護報酬同時改定について」「サービス付き高齢者向け住宅での医療介護連携について」等の研修を開催しました。
- 関係団体からの研修企画や開催方法、周知方法についての相談対応をしました。

◆地域住民への普及啓発

- 地域住民に対する在宅医療・介護市民講座：テーマ「在宅での看取り」を6地区で開催しました。（参加者延べ513名）
- 終括支援ノートの活用講座を2回開催しました。

③生活支援コーディネーター設置事業

【地域福祉課】

平成29年度からは生活支援コーディネーターを地域福祉係に統合し、30年度は第1層（全市）生活支援コーディネーターを地域福祉係長（1名）、さらに第2層（29地区）生活支援コーディネーターをコミュニティソーシャルワーカー（7名）の兼務とし、次の通りの活動を行いました。

ア) 地域の生活課題の把握

平成27年度から地域包括、福祉推進員、民生児童委員、町内会自治会等と実施とした「高齢者の暮らし困ったこんな時お知恵拝借シート」等を活用し、地域の生活課題を把握する取り組みを行いました。

また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ) ネットワークづくり

地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組による解決を図るため、市内 29 地区を単位に「第 2 層協議体」の立ち上げを進めました。平成 30 年末で 22 地区の立ち上げを支援しました。

ウ) 住民主体の生活支援サービスの開発

高齢者をはじめとする地域住民の「ちょっとした困りごと」を解決するための、住民主体の生活支援サービスや居場所づくり等の立ち上げを支援しました。平成 30 年度は総合事業訪問型サービスとして 1 団体、(合計 3 団体) 通所型サービスとして 4 か所 (合計 13 団体) が立ち上がりました。

総合事業によるサービス以外にも、美保関に身近な通いの場を立ち上げなど、地域の特色に応じた活動への支援を行いました。

エ) サービスの担い手確保

8 月 1 日と 1 月 19 日に平成 30 年度くらし安心サポートセミナーを実施し、46 名が受講され地域の支え合い活動の担い手として登録されました。平成 28 年度から通算し、受講者は 133 名、登録者は 100 名となり、ボランティアセンター個人登録につながったのは 15 名となりました。

訪問型サービス A (基準緩和型サービス) へ従事していただくことを目的に、1 回目 (4 月 18 日 19 日 20 日)、2 回目 (12 月 18 日 20 日 21 日) に平成 30 年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。6 名が受講をされ、松江市より 5 名に修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

活動の項目	件数
住民型サービスへの支援	64 件
協議体の立ち上げ・運営	149 件
人材育成	138 件
啓発	233 件

④認知症地域支援推進事業

【地域福祉課】

ア) 予防・早期発見

○お笑い認知症予防教室の開催

地域住民に認知症に対しての理解をしていただくため寸劇を通して啓発しました。

実施日	会 場	内 容	参加者数
4 月 19 日	鹿島 上講武公会堂	なごやか寄り合い	概ね 20 人
5 月 28 日	東出雲 出雲郷公民館	シルバー講座	概ね 20 人
6 月 1 日	鹿島公民館	なごやか世話人会	概ね 40 人
7 月 2 日	鹿島 恵曇公民館	恵曇高齢者学級 (昭栄なごやか)	概ね 20 人

7月22日	古志原公民館	古志原まつり	概ね20人
9月26日	島根小学校	PTA主催 認サポ（対象：島根小5、6年児童、保護者、先生）	概ね200人
3月7日	玉湯 布志名集会所	布志名福祉会	概ね30人

イ) 支援者づくり・まちづくり

○徘徊 SOS ネットワークの強化

認知症見守りネットワーク運営の強化

認知症見守りネットワークの協力者募集を機会あるごとに行い登録を促しました。

9月17日のアルツハイマーデーに認知症家族会松江支部と協力し、チラシ等の配布を松江駅並びにイオン松江店にて実施しました。

◆認知症見守りネットワーク

年度	登録者数(利用者)	登録者数(協力者)	協力事業所数	稼働回数
H30年度	105人	1,085人	27事業所	9回
H29年度	95人	928人	25事業所	4回
H28年度	142人	709人	25事業所	3回

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦勞が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式で毎月第3金曜日に松江市総合福祉センターで開催しました。

◆男性介護者の集い参加状況

開催月	参加人数	ボランティア	相談対応
4月	4人	傾聴ボランティア 「まつえ一期の会」	・地域包括支援センター ・地域福祉課
5月	2人		
6月	1人		
7月	3人		
8月	3人		
9月	2人		
10月	4人		
11月	5人		
12月	5人		
1月	6人		
2月	6人		
3月	6人		
計	47人		

○家族介護者交流会

在宅で家族の介護をしている家族介護者が相互に交流や講話などを通じて元気回復を図ることを目的に、以下の内容で実施しました。

	日時	会場	参加者	内容
第1回	9月26日(水) 10:30～12:30	松江市 総合福祉センター	12名	笑い療法士による講演と交流会 (講師：岩崎 一人 氏)
第2回	12月12日(水) 10:30～13:30	松江市 総合福祉センター	8名	介護者ワークショップとスイーツバイキング (協力：社会福祉法人みずうみ 堀田氏 日野氏)
第3回	2月27日(水) 10:30～12:30	松江市 総合福祉センター	7名	日本茶ワークショップ (講師：加島茶舗 加島 浩介氏)
	2月28日(木) 10:30～12:30		2名	

4-(2) 支援策研究開発会議

【生活支援課】

総合相談機能の強化及びコミュニティソーシャルワーク機能の強化を図るため、「支援策研究開発会議」を開催し、「研究会」と「開発会議」の二つの会議を柱に、事業と事例の検証を重ね、組織における問題・課題の洗い出しとその対策について検討し、「身寄りがない人への支援に関するアンケート」を実施しました。実態を把握することができ、新たな事業として「身寄りのない高齢者を支援する仕組みづくり」を提案しました。

◆会議開催状況

事業名等	回数	内容
開発会議	9回	「身寄りがない人への支援に関するアンケート」を実施、分析
研究会	1回	●日時 平成31年3月27日(水) 参加者 40名 「社協事業報告会」 ○社会的孤立プロジェクト報告について ○災害ボランティア研修の報告 ○CSWの実践報告 ○共生社会フォーラム 伝達研修(14:30～) 「自分の言葉で語ろう！あなたが考える地域共生社会とは？」
対策会議	12回	複合課題困難事例の支援策検討、財産等一時預かりの検討
困難事例検討会	1回	専門的な助言を必要とするケースについて外部のアドバイザーを招いての検討

◆市民公開講座・個別相談会

事業名等	内 容
市民公開講座 第1回	日時 平成31年2月10日(日) 13:30~15:00 会場 松江市総合福祉センター 教養室 参加者 34名 内容 「ご存知ですか?成年後見制度」 講師:法テラス島根法律事務所 弁護士 澤田 博和 氏 個別相談会 15:15~16:45 島根県弁護士会弁護士・地域包括支援センター相談員 による「なんでも相談会」 相談者9名

4-(3) 社協内相談事業連絡会議

【生活支援課】

相談ケースの情報共有と連携方法や支援についての検証を行うため、社協内各課の相談事業連絡会を開催しました。

事業名等	回数	内 容
相談事業連絡会	12回	各課相談事業の情報共有と連携方法や支援についての検証

4-(4) 各種貸付相談

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と自主事業として、低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を実施し、世帯の自立を図ることを目的として相談、貸付を行いました。

◆相談件数

年度	相談件数
H30年度	1,238件
H29年度	1,008件
H28年度	927件

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	71	88	79	76	66	52	110	145	155	142	139	115

①生活福祉資金の貸付

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

- 福祉資金(生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護その他福祉費、緊急小口)

- 教育支援資金
- 不動産担保型生活資金
- 総合支援資金

◆生活福祉資金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
H30 年度	41 件	33,273,000 円
H29 年度	47 件	44,656,000 円
H28 年度	65 件	65,965,000 円

◆生活福祉資金 資金内訳 (41 件)

- 住宅改修費 (3 件) ■技能習得経費 (1 件) ■一時的必要経費 (13 件) ■教育支援費 (12 件)
- 障がい者自動車購入 (1 件) ■緊急小口 (8 件) ■総合支援資金 (1 件)
- 要保護向け不動産担保型生活資金 (2 件)

②民生融金の貸付

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により 1 件 5 万円以内で貸付支援を行いました。また、貸付対象者の見直しを行いました。

◆民生融金貸付実績

年度	貸付件数	貸付金額
H30 年度	69 件	960,000 円
H29 年度	124 件	1,916,600 円
H28 年度	161 件	2,648,200 円

4-(5) 福祉サービス

①福祉サービスの実施

【地域福祉課】

ア) 移送サービスの実施

本所と湖南事業所(宍道健康センター)の 2 ヶ所を拠点に市町村有償運送事業を松江市から受託し、移送サービス事業を実施しました。

高齢者や障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、市民相互の連帯と互助精神に基づく福祉のまちづくりを推進することを目的とし、医療機関等の通院を主として、福祉車輛を利用した送迎サービスを行いました。

◆移送（たんぽぽ）サービス事業の状況

	本所	湖南事業所	計
福祉車輛	2台	2台	4台
利用会員数	19人	12人	31人
登録運転協力員数	16人	0人	16人
専属運転士(社協職員)	0人	3人	3人

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（本所）

	H30年度	H29年度	H28年度
通院・入退院	206件	168件	185件
施設利用	0件	0件	1件
行事・会議等の参加	0件	1件	2件
行政機関等の訪問	2件	11件	6件
買い物	0件	0件	0件
その他利用	0件	0件	0件
計	208件	180件	194件

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（湖南事業所）

	H30年度	H29年度	H28年度
通院・入退院	76件	91件	127件
その他利用	0件	0件	0件
計	76件	91件	127件

イ) 住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、協力会員の募集や協力会員同士の情報交換、資質向上のための研修会の開催、県内の住民参加型の在宅福祉サービスを実施している団体と情報交換や、「しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク」に加入し、研修会へ参加しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

年度	H30年度	H29年度	H28年度
利用会員	134人	133人	142人
協力会員	60人	61人	58人

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1時間単位のサービス時間を設定）

項目	H30年度	H29年度	H28年度
利用回数（家事）	2,021回	2,405回	2,872回
利用時間（家事）	3,212時間	3,810時間	4,630時間
利用回数（介護）	682回	1,040回	1,278回
利用時間（介護）	1,318時間	1,820時間	2,278時間
利用回数（認知）	0回	0回	0回
利用時間（認知）	0時間	0時間	0時間
利用回数（計）	2,703回	3,445回	4,150回
利用時間（計）	4,530時間	5,630時間	6,908時間

◆協力会員研修会の実施及び参加

事業名等	内容
しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成31年3月15日(金) 会場 ビッグハート出雲 内容 総会 住民主体の生活支援フォーラム 意見交換 参加者数 1人

②介護職員初任者研修の実施

【総務課】

介護の分野で働きたいという方を対象に、介護等に必要の基礎知識・技術の習得を目的として講座を開催しました。この講座は島根県社会福祉協議会が実施する「中高年齢者等への入門的研修事業」の一環として実施し、修了者については、事業所での実地教育訓練を通して、就労支援が行われました。

◆介護職員初任者研修の実施状況

年度	H30年度	H29年度	H28年度
修了者数	8人	13人	5人
開催回数	1回	1回	1回
内容 (共通)	開催時期 10月～11月 講義 65時間 実技講習 53時間 実習 12時間 計 130時間		

5. 公的福祉サービス受託事業の推進

5-1) なごやか寄り合い事業

【地域福祉課】

長年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

年度	実施会場数	実施回数	参加者延人数
H30 年度	368 カ所	3,149 回	41,970 人
H29 年度	373 カ所	3,177 回	42,624 人
H28 年度	366 ヶ所	3,140 回	42,271 人

◆公民館区ごとの実施状況

地区名	会場数	回数	地区名	会場数	回数
大庭	19	126	持田	13	97
古志原	12	72	本庄	13	81
忌部	18	83	朝酌	9	29
竹矢	10	67	古江	6	58
津田	11	92	秋鹿	13	56
乃木	13	99	大野	8	47
雑賀	7	79	鹿島	18	344
朝日	9	74	島根	16	150
白潟	9	85	美保関	22	213
城西	8	32	八雲	17	160
城東	4	24	玉湯	18	125
城北	4	76	宍道	21	187
法吉	11	75	八束	8	58
生馬	10	94	東出雲	27	324
川津	15	146	合計	373	3,153

ア) 継続支援、立ち上げ支援

継続会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

立ち上げ相談・説明会	29 地区 (39 回)
立ち上げボランティア行事用保険	15 会場 72 件 (約 2,322 人分)
物品提供	15 会場 166 件

イ)「なごやか寄り合い事業」通信（事務局版）の発行

事業の現状、なごやか寄り合い事業、ボランティア研修会などの様子を記入した事務局を作成し、地区社協・実施会場・その他関係機関等に配布しました。

ウ)「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆ブロック研修会の開催

事業名等	内 容
ブロック研修会 橋南エリア	●日時 平成 30 年 9 月 14 日（金）10：00～12:00 会場 松江市総合福祉センター 参加者 約 51 人
橋北エリア	●日時 平成 30 年 9 月 13 日（木）10：00～12:00 ●会場 松江市総合福祉センター 参加者 約 82 人
	●内容 両日とも共通 ①健康政策課：川上保健師より数値でみるなごやかよりあい事業の分析説明 ②訪問看護ステーションくるみ：鐵池氏による住民運営の通いの場について説明 ③グループディスカッション

◆全体研修会の開催

事業名等	内 容
全体研修会	●日時 平成 31 年 3 月 13 日（水）13:30～16:30 会場 松江市総合福祉センター 内容 なごやか寄り合いへの出前講座の大見本市 参加者 約 100 人

5-(2)まつえ障がい者サポートステーション絆の運営

【生活支援課】

障がい(児)者相談員が障がい(児)者の生活上の問題の相談に応じ、情報提供・助言・その他障がい福祉サービスの利用支援を行うとともに、関係機関との連携を図り、障がい児(者)の地域生活に関わる相談を行いました。

その運営については、松江市との合同事務局として推進しました。

◆相談実績

年度	相談者実人数（者）／（児）	相談延件数（者）／（児）
H30 年度	219 人／72 人	635 件／113 件
H29 年度	180 人／64 人	620 件／103 件
H28 年度	243 人／60 人	660 件／140 件

- 障がい者サポートステーション「絆」運営
 - 運営・事務局会議（社会福祉審議会に向けての事前協議） 計 12 回実施
- エスコ・ウィッシュ・絆との定例会（エスコ・ウィッシュとの連携についてサポート絆の事務局との協議） 計 6 回実施
- ぶらす・絆との定例会（ぶらすとの連携についてサポート絆の事務局との協議） 計 6 回実施
- 事業所連絡会（サポート絆の構成事業所との協議及び事例検討） 計 12 回実施
- 絆研修関係
 - ・アセスメント力向上事例検討会 計 4 回実施
 - ・関係団体、学校等への出前講座 計 9 回実施
 - ・専門知識勉強会 計 6 回実施
 - ・介護支援専門員と障がい児者相談支援専門員意見交換会 計 1 回実施

◆知的障がいをもつ働く青年たちの仲間づくりと、余暇活動の支援、それを支えるボランティアの組織づくり

項目	年間実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
クッキングクラブ	6 回	89 人	29 人

- コスモスの会（障がい者余暇支援団体）との連絡会 計 12 回実施

◆公民館を拠点とする障がい者の活動支援

項目	年間実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
湖北だんごの会	24 回	144 名	120 名

5-(3) 生活困窮者自立相談支援事業（松江市暮らし相談支援センター）

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。

◆松江市暮らし相談支援センター相談件数

年度	新規相談者実人数
H30 年度	366 人
H29 年度	223 人
H28 年度	374 人

◆月別相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	29	43	21	39	26	30	42	28	29	21	29	29

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

相談内容		人数	支援内容		人数	
病気・健康		46人	制度利用	住宅確保給付金	5人	
住まい		82人		一時生活支援事業	19人	
収入・生活費		130人		家計相談支援事業	23人	
家賃やローン		31人		就労準備支援事業	13人	
税金・公共料金支払		21人		入居債務保証	47人	
債務		37人		生活福祉資金	2人	
仕事探し・就職		52人		民生融金	8人	
仕事上の不安・トラブル		4人		フードバンク	60人	
地域との関係		4人		就労支援促進事業	20人	
家族との関係		17人		他機関へ 引継ぎ・同行	ハローワーク同行・連絡調整	56人
子育てのこと		1人			法テラス	74人
介護のこと		3人	サポート絆		88人	
引きこもり・不登校		5人	包括支援センター		93人	
DV・虐待		5人	市窓口		213人	
食べるものがない		29人				
その他		82人				

①自立相談支援事業（松江市委託事業）

生活困窮者の就労その他の自立に関する相談支援で、自立支援計画（プラン作成）を作成し、各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施等の業務を行いました。

②一時生活支援事業（松江市委託事業）

緊急に衣食住の確保が必要な方に、緊急一時的な宿泊場所の調整や食糧支援等を行い、就労や住まい探しなどの相談支援を行いました。

③住居確保給付金

離職により住居を失い生活に困っている方、または住居を失うおそれの高い方に、一定期間の松江市からの家賃支給申請を行い、安心して就職活動ができるように支援を行いました。

④家計相談支援事業（松江市委託事業）

家計の視点から必要な情報提供などを行うとともに、相談者自身が家計を管理できる力を高める支援や家計に関する課題を解決するための様々な機関につなぐなどの支援を行いました。

⑤就労準備支援事業（松江市委託事業）

就職活動や社会との関わりに不安がある方などを対象に就労に向けた個別の準備支援や就労準備講座の開催を行いました。

⑥入居債務保証制度

家賃等について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために住居の確保ができない方を対象に社会福祉協議会が滞納家賃等を保証し、住まいの確保を支援しました。

⑦フードバンク事業

くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、市福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的な対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

	実利用者	延べ利用者
提供数	160名	285名

◆寄付件数

家庭で眠っている食品を寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設、団体に無償で提供するボランティア活動です。今年度もインスタント食品やレトルト食品、缶詰などの保存食品等多数のご寄付がありました。

寄付者数（個人・団体）46人 品数 6,222個

◆ひとり一品運動

フードバンク事業の啓発活動として、平成30年12月3日（月）～平成30年12月7日（金）まで「ひとり一品運動」を実施し、多くの食品や日常生活用品等を寄贈いただきました。

⑧「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や契約弁護士による法律相談、くらし相談支援センター職員との事例検討等を行い、司法と福祉の連携を図りました。

◆助っ人弁護士制度の実績

年度	方法	件数
H30年度	面談での情報提供	140件
	ホットライン（電話での情報提供）	73件
	ケース検討等	268件
	法律相談につながったケース	13件

6. 介護保険関係事業の推進

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する4つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

6-(1) 松江社協介護センターの経営

【総務課：松北事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。

(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

年度	職員数
H30年度	2人
H29年度	2人
H28年度	2人

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

	作成人数	総合	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
H30年度	787	31	34	60	309	198	89	48	18	2	6,657	1,655
H29年度	916	18	61	67	336	249	106	65	14	0	6,555	2,009
H28年度	874		98	96	327	204	119	33	0	0	4,365	1,400

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介護員(ホームヘルパー)11名(嘱託4名、パート7名)体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制》

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
H30 年度	2 人	2 人	7 人
H29 年度	2 人	2 人	7 人
H28 年度	2 人	1 人	12 人

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績》 (人)

年度	総合	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計
H30 年度	37	63	91	224	124	39	13	0	591
H29 年度	15	84	111	106	98	39	19	33	490
H28 年度		102	75	134	98	56	19	5	489

6-(2) 美保関介護センターの経営

【総務課：松東事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆美保関居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
H30 年度	2 人
H29 年度	2 人
H28 年度	2 人

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

	作成人数	総合	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
H30 年度	831	30	82	54	388	142	91	29	15	0	3,485	1,276
H29 年度	852	2	40	65	385	197	110	34	19	0	4,030	1,382
H28 年度	949		58	72	343	269	114	81	22	2	3,583	1,423

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)10名(正規1名、嘱託2名、パート7名)体制

により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
H30年度	2人	1人	7人
H29年度	2人	0人	8人
H28年度	2人	0人	7人

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
H30年度	19	104	206	242	56	37	26	15	705
H29年度	1	108	213	222	66	52	13	13	688
H28年度		103	193	235	46	32	6	14	629

③通所介護事業及び介護予防通所介護事業

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制 (兼務有)

年度	生活相談員	看護職員(機能訓練)	介護職員
H30年度	3人	3人	10人
H29年度	3人	4人	10人
H28年度	2人	3人	9人

◆美保関通所介護事業

年度	年度末実利用者数	稼働日数	年間延利用者数	年間延入浴利用者数	年間延食事利用者数	一日平均利用者数	3h～4h(人)	5h～6h(人)	6h～7h(人)	7h～8h(人)
H30年度	34	307	4,395	4,387	4,395	14.3	4	30	39	4,322

年 度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	3h～5h(人) 通所介護	5h～7h(人) 通所介護	7h～9h(人) 通所介護
H29年度	39	306	4,558	4,521	4,549	14.8	4	88	4,466
H28年度	41	307	5,757	5,676	5,757	18.6	2	66	5,690

◆美保関介護予防通所介護事業

年 度	年度末実 利用者数	稼働日数	年間延 利用者数	年間延入浴 利用者数	年間延食事 利用者数	一日平均 利用者数	通所介護 ¹ 介護予防	通所介護 ² 介護予防
H30年度	6	307	474	469	474	1.5	61	413
H29年度	7	306	617	520	617	2.0	186	617
H28年度	11	307	449	376	449	1.5	174	275

6-(3) 松南介護センターの経営

【総務課：松南事業所】

①居宅介護支援事業

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。(要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託)

◆松南居宅介護支援事業所体制

年度	職員数
H30年度	3人
H29年度	3人
H28年度	3人

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
H30年度	1,249	69	108	100	463	257	126	106	20	1	9,536	3,208
H29年度	1,300	43	126	134	521	234	165	68	9	0	8,445	3,107
H28年度	1,273		84	179	546	245	135	55	29	0	6,925	2,823

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）9名（嘱託2名、パート7名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
H30年度	1人	1人	7人
H29年度	1人	1人	6人
H28年度	1人	1人	6人

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
H30年度	21	84	80	140	53	8	34	0	420
H29年度	1	53	82	126	68	19	21	0	370
H28年度		39	66	125	72	13	11	0	326

6-(4) 宍道介護センターの経営

【総務課：湖南事業所】

①居宅介護支援事業

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆宍道居宅介護支援事業所体制

年度	職員数	常勤換算
H30年度	3人	2.7人
H29年度	3人	2.7人
H28年度	3人	3.0人

*常勤換算とは 「常勤の職員の人数」 + 「(非常勤の職員の勤務時間) ÷ (常勤の職員が勤務すべき時間)」 で算出

*常勤とは 正職員、パート等雇用形態を問わず、フルタイムで働く者をいいます。

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数 (人)

	作成人数	総合事業	要支援		要介護					認定待ち	相談延人数	訪問延人数
			1	2	1	2	3	4	5			
H30年度	1,181	114	54	125	422	259	136	58	13	0	2,373	1,792
H29年度	1,181	55	94	120	434	234	168	65	11	0	2,402	1,748
H28年度	1,148		125	99	443	209	158	94	20	0	2,513	1,719

②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員（ホームヘルパー）12名（嘱託1名、常勤1名、パート10名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し、入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助、生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

年度	サービス提供責任者	常勤ヘルパー	パートヘルパー
H30年度	1人	1人	10人
H29年度	1人	1人	11人
H28年度	1人	1人	11人

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績 (人)

年度	総合	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
H30年度	17	77	90	136	78	19	19	29	465
H29年度	17	29	68	169	72	28	23	29	435
H28年度		43	59	109	105	36	6	28	386

6-(5) 介護センターの研修等の推進

【総務課】

①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

年度	専門Ⅰ	専門Ⅱ	主任	主任更新	更新	計
H30年度	2	6	3	6	7	24
H29年度	0	5	2	4	12	23
H28年度	5	6	4	3	3	21

②訪問介護員内部研修

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るためグループに分け内部の社協内訪問介護事業所の全体研修を実施しました。

事業名等	内 容
訪問介護員 内部研修【第1回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年10月5日(金)、12日(金) 会場 松江市北消防署 内容 「応急手当講習」 講師 消防本部警防課 参加 29名
内部研修【第2回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年11月19日(月)、20日(火) 会場 松江市鹿島支所、宍道健康センター 内容 「ホームヘルパーとして必要なこと」 講師 「笑う門にはいい介護」の会代表 中村 学 氏 参加 38名

③居宅介護支援専門員内部研修

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため松江市で開催された下記の研修に全体研修として参加しました。

事業名等	内 容
居宅介護支援専門員内部研修【第1回】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成30年12月12日(水) 会場 松江合同庁舎 2階講堂 内容 高齢者虐待防止研修会 講師 社会福祉士 市川 知律 氏 参加人数 介護支援専門員 10人

④その他介護職員関係研修への参加

介護職員は、サービスの質や技術の向上のため、多くの研修を受けることが求められており、下記の研修に参加しました。

- ・介護技術研修会
- ・包括支援センター公開講座

・新任介護職員教育担当育成研修

6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託

【総務課】

平成 29 年度より島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆介護認定訪問調査事業体制

年度	正規	嘱託	パート
H30 年度	3 人	14 人	6 人
H29 年度	3 人	15 人	5 人
H28 年度	4 人	11 人	3 人

◆調査件数

(件)

年度	在宅	施設	合計
H30 年度	5,707	4,328	10,035
H29 年度	7,013	4,519	11,532
H28 年度	5,331	3,381	8,712

○認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

事業名等	内 容
【松江市主催】 第 1 回介護認定調査員研修会	●日時 平成 30 年 8 月 28 日 (火) 内容 「クレーム研修」 講師 湯浅 宗浩 氏 参加者数 27 人
第 1 回介護認定審査会委員研修会	●日時 平成 30 年 11 月 9 日 (金) 内容 講演「2018 診療・介護報酬同時改定の概要と認定審査の意義」 参加人数 19 人
第 2 回介護認定調査員研修会	●日時 平成 30 年 12 月 11 日 (火) 内容 松江市の認定調査について 事例検討 参加人数 22 人

厚生労働省 要介 護認定適正化事業 「技術的助言事 業」	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 31 年 1 月 9 日（水） 内容 審査会傍聴、審査会委員との意見交換等 参加人数 7 人
介護認定審査会見 学	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 31 年 2 月中（8 日間） 参加人数 22 人
【社協内部研修】	<ul style="list-style-type: none"> ●日時 平成 30 年 10 月 26 日（金） 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松江市の総合事業について 松東地域包括支援センター 板持早苗 ・ 接遇研修 講師 (株)アール・ツー・エス 調査事業部認定調査課 係長 甲斐 妙子 氏 参加人数 24 人

○松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

年度	件数
H30 年度	6
H29 年度	5
H28 年度	22

7. 障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する 4 つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

また、3 つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し 1 つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松北事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	1,184回	9人	10人	1,025時間00分	52分
H29年度	1,640回	10人	11人	1,473時間15分	54分
H28年度	1,428回	11人	12人	1,385時間30分	58分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	49回	6人	10人	114時間30分	2時間20分
H29年度	24回	5人	12人	72時間30分	3時間01分
H28年度	22回	5人	13人	76時間30分	3時間29分

②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

【総務課：松東事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	1,306回	15人	10人	1,091時間00分	55分
H29年度	1,315回	15人	10人	1,097時間00分	50分
H28年度	601回	13人	9人	691時間30分	1時間09分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	30回	2人	10人	43時間00分	1時間26分
H29年度	38回	2人	10人	73時間30分	1時間56分
H28年度	42回	2人	9人	72時間00分	1時間42分

③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

【総務課：松南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	292回	4人	10人	284時間00分	58分
H29年度	388回	7人	8人	392時間00分	1時間01分
H28年度	539回	6人	7人	497時間25分	55分

イ) 障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆業務実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30年度	88回	3人	10人	86時間00分	56分
H29年度	44回	2人	8人	50時間30分	1時間09分
H28年度	52回	2人	8人	66時間30分	1時間17分

④ 宍道障がい者居宅介護事業

【総務課：湖南事業所】

ア) 障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆ 契約実績

	派遣回数	実利用者数	ヘルパー数 実働	サービス提供時間	平均利用時間
H30 年度	813 回	8 人	12 人	993 時間 30 分	1 時間 13 分
H29 年度	826 回	7 人	13 人	940 時間 00 分	1 時間 08 分
H28 年度	1,034 回	8 人	13 人	1,035 時間 30 分	1 時間 00 分

* 同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定及び松江市地域生活支援事業の事業所指定を受けていない。

8. 児童福祉サービスの推進

8-(1) 児童センター等の受託運営

【松南事業所】

① 八雲児童センター運営事業

0 歳から 18 歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆ 利用実績

延べ人数

年度	0～6 歳	小学生	中高生	大人	合計
H30 年度	2,351 人	1,232 人	19 人	4,190 人	7,792 人
H29 年度	3,209 人	1,401 人	21 人	5,248 人	9,879 人
H28 年度	1,316 人	1,655 人	13 人	3,373 人	6,357 人

他の施設等との連携で年間をとおして多様な事業を行いました。

- ▼ 毎月 1 回 絵本とあそぼう会、ファミリーサークル、わいわいサロン（市民生活課との共催）、布のおもちゃ作り
- ▼ 年 1 回～2 回 どんぐり館まつり、表現ワークショップ、わらリズム、音楽コンサート、お月見会、陶芸体験、食育講座、リフレッシュ体操、人形劇鑑賞、幼児救急法等

② 八雲児童・子育て事業

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域で

の多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラくらぶ」	●回数 44回 会場 児童センター、秋桑すこやか会館、八雲公民館 やくものお家 参加者数 784人(親子)

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親が増えたり、幼稚園児の減少も影響したため、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけました。

事業名等	内 容
子育てサロン 「星キラママ」	●回数 18回 会場 児童センター 内容 陶芸、豆腐作り、コンサート等 参加者数 611人（地域の高齢者の方々を含む）

8-(2) 子ども食堂の取り組み

【地域福祉課】

経済的な問題や孤食の問題の解消だけでなく、家族以外の地域の人との交流や「食事の場面」を通じて子どもの人格形成に必要な知識や体験を学ぶ場、気軽に安心して立ち寄れる居場所として「まつえこども食堂さいか店」を実施しました。また、こども食堂が住民主体の活動として必要な地域に広がるよう取り組みました。

事業名等	内 容
まつえこども食堂 さいか店	回 数 12回（毎月1回） 時 間 16:00～20:00 会 場 洞光寺会館（松江市新町） 食 事 カレーライスを中心に提供 利用者 実利用者：こども40人、大人・保護者25人 延べ利用者：こども131人、大人・保護者51人、ボランティア101人

9. 福祉施設等管理運営事業の受託

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点として多数の利用がありました。また、会館の活性化を考慮し11月より、1階エントランスホールを活用して

毎月第1水曜日に朝市を開催、作品展なども行い来館者増を目指しました。11月には就労支援B型事業として、社会福祉法人さくらの家が「喫茶いこい」をオープンしました。会館利用者にも好評を得ています。

◆開館実績：平成30年度359日 9:00～21:00（日曜 9:00～17:00、祝日 9:00～18:00）

年度	施設利用人員	浴室利用人員
H30年度	55,042人	0人
H29年度	56,816人	0人
H28年度	56,816人	19,576人

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として多数の利用がありました。

◆利用実績

年度	利用件数	時間数	利用人員（延べ）
H30年度	173件	639時間	3,169人
H29年度	186件	686時間	3,229人
H28年度	206件	889時間	3,483人

9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業

【東出雲支所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、老人福祉活動の拠点として、また集会室等憩いの場として利用がありました。入浴施設については、機器の故障等により復旧の見込みがたたず営業を休止している為利用がありませんでした。

◆老人福祉センター利用実績

年度	施設利用人員	浴室利用人員
H30年度	3,901人	0人
H29年度	3,603人	0人
H28年度	4,054人	3,439人

9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業

【松東事業所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、世代間交流など町民の福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

事業名	年間回数	備考
せんだんカフェ開催	8回	地元ボランティア活動
美保関地区高齢者クラブ会議	4回	
美保関中学校2年生福祉体験学習	1回	6/21～6/22
敬老会ボランティア受け入れ	1回	9/13～9/14

9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業

【松東事業所】

西ふれあいプラザを会場に健康からだ元気塾・いきいき体操教室の開催、ボランティア団体による福祉交流の場としてカフェを開催するなど、地域の皆様の交流の場、福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

項目	調理室利用者数	和室利用者数	集会室利用者数	合計
H30年度	74人	0人	798人	872人
H29年度	76人	0人	944人	1,020人
H28年度	69人	0人	797人	866人

10. 「地域共生社会の実現に向けた」の地域づくり推進

10-(1) 地域力強化推進事業

【地域福祉課】

住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することを支援する為、他人事を「我が事」に変えていくよう働きかけや、地域住民の担い手を創出していく取組みを行いました。

①歩いて行けるみんなの居場所づくり事業

地域住民の孤立を防ぐとともに、近所同士の交流を活性化するための拠点をづくり、あわせて介護や子育て、生活困窮などの困りごとを早期発見する機能をもつことにより、誰もが安心して暮らすことが出来るまちづくりを推進することを目的に取り組みを進めました。

地域の集いの場の現状把握、および空き家の募集等を行いました。

美保関町の雲津地区において週1回、集いの場の活動が始まりました。

②参加型買物支援と介護予防の取り組み

近隣に店舗がないなど、買物が困難な状況を改善する取り組みとして、なごやか寄り合いの会場を拠点に市内15か所で介護予防体操の指導と移動販売をセットにした取り組みを進めました。

◆実施内容

実施事業所	株式会社 さんびる
市社協の支援	① 移動販売車の燃料費相当額の1/2を負担 ② 健康体操インストラクター費用 6,000 円を負担

③巡回相談の実施

地域の課題解決のための仕組みづくりとして、大庭地区社協が実施する「巡回お悩み相談室」をモデル的に地域福祉課、地域包括支援センター、市健康推進課（保健師）と協働し相談対応にあたりました。また、地域福祉課CSWが地区社協や地区民児協の緒会議へ積極的に参加し、情報収集や把握を行い、個別・地域課題を拾い上げ解決に向け取り組みました。

このような取り組みは、地域に埋没しがちな困りごとを支援につなげるために、地域住民との協働による課題解決を進めるための仕掛けにもなっています。住民自身が自らの地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを進めていくことができるよう、自治会や民生児童委員、福祉推進員、福祉関係者と共に支援のネットワークの構築を目指し巡回相談を実施しました。

◆お悩み巡回相談室実績

巡回相談区分	相談件数	実施場所等
大庭地区社協「巡回お悩み相談室」	5 件	大庭市宮アパート
市社協「ふくしなんでも相談」巡回対応	8 件	随時対応

10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

【生活支援課】

総合的な相談支援体制を構築するため、相談機関が横断的かつ統合的に協働し、さらに外部機関と連携することで包括的な支援体制の構築を目指す取り組みを行いました。

①松江市社会福祉協議会職員の全てが相談を受けとめる体制づくり

ア) ふくしなんでも相談所の開設 0852-22-7830（ナヤマナシ）

市民の皆様の身近なご相談（悩みごと）をお受けし総合的にサポートしました。

1 次相談	177 件
2 次相談	108 件
3 次相談	34 件

イ) 総合相談調整室でのケース進捗管理

総合相談調整室でのケースの把握と管理を行い、毎月20日にCSW、包括の班長が集まりケースの共有を行う実務者会を開催しました。受けた相談の課題解決に向けた進捗管理を行いました。

ウ) 解決が困難なケースへの対応

市社協内での連携が必要なケースについて、市社協内各課参加による対策会議を開催し、外部の専門的な助言が必要なケースについて困難事例検討会を開催しました。また、専門職、地域住民参加による地域ケア会議を開催しました。

エ) 福祉総合相談システムの活用

システムを導入し、受けた相談の一元管理を行いました。

②受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり

ア) 入口支援（早期発見）から出口支援（課題整理）へのための体制づくり

昨年度の取り組みから課題分析を行い、「社会的孤立」の課題について取り組みを行いました。

①「社会的孤立」啓発リーフレットの作成

②地域での孤立の研修

③公開シンポジウム

日時 平成31年2月22日（金）13:30～16:30

会場 松江市総合福祉センター 大ホール 参加者 192名

●講演「安心して暮らせる地域共生社会を目指して」

～無縁から有縁へ ともにつながるまち

講師：NPO法人 抱樸 理事長 奥田知志 氏

●シンポジウム 「支えあい・孤立防止の取り組み」

実践報告～個別支援をとおして～

④冊子の作成「おせっかいのススメ」

③関係機関との連携

松江市との連携強化を図る為、市・市社協合同会議を2回開催しました。また、関係機関との連携を図るため、地域、司法、就労・若者支援、児童福祉・教育、更生保護、保健、障がい者福祉、人権、福祉・ボランティア活動・市民相談、高齢者福祉の参加による包括化推進会議を2回開催しました。また、法テラス島根、島根県弁護士会と連携したなんでも相談会を1回開催し、9名の相談がありました。

④周知啓発

事業周知を図るため各種研修会等でのチラシの広報のほか、電子看板(デジタルサイネージ)を活用したCM放送で「福祉なんでも相談」の周知を行いました。

① 市営バス車両8台分（期間：H30.3.1～5.31、H30.12.1～H31.3.31）

② イオン松江3階フードコート3台分（期間：H30.5.1～H31.4.30）

10-(3) 松江市小規模法人のネットワーク化による協働推進事業

【総務課】

①障がい者が暮らしやすい地域づくり研修会

「障がいがあっても地域で働き、生活していく、そして子供やお年寄りとも交流していく
そうした共生社会を進める」をテーマに小規模作業所の職員や働く仲間の家族だけでなく、
地域の関係者や福祉職など幅広い参加を求め、講演会と障がいサービス事業所の活動状況や
好事例の実践発表を行いました。

またロビー等を活用して、参加の作業所等で作成している製品の展示や即売会を開催しま
した。

日時 平成 30 年 11 月 10 日（金） 10:30～16:00

会場 テクノアークしまね 大会議室

●講演「障がい者のノーマライゼーションとまちづくり」

講師：社会福祉法人むそう 理事長 戸枝陽基 氏

●実践報告 「つなげる輪つながる輪」

②小規模作業所体験会（バスツアー）

小規模作業所や福祉の仕事を知るための、市内の小規模作業所等をマイクロバスで訪問し、作
業風景の見学や作業体験をして理解を深めました。

また参加者がモニターとなり、作業所製品のクッキーやパンなどを試食し、製品向上のアン
ケート調査を実施しました。

日時 Aコース 平成 31 年 2 月 14 日（木）

Bコース 平成 31 年 3 月 6 日（水）

11. 災害支援

11-(1) 各地への災害支援派遣

【総務課】

2018年は全国各地で自然災害が多発し、複数の地域において災害ボランティアセンターの運営スタッフとして支援を行いました。

- ① 4月9日 島根県西部地震 震度5強

大田市災害ボランティアセンター（派遣期間：4/22～5/13）

派遣クール数	派遣延べ人数
10班	72人

- ② 7月7日 西日本豪雨災害 島根県江津市桜江町 江の川流域の浸水被害
江津市災害ボランティアセンター

川越サテライト及び川戸サテライト（派遣期間：7/13～7/22）

派遣クール数	派遣延べ人数
5班	28人

- ③ 7月上旬 西日本豪雨災害 広島県竹原市 主に賀茂川流域の浸水被害及び土砂災害
竹原市災害ボランティアセンター（派遣期間：7/25～8/26）

派遣クール数	派遣延べ人数
13班	74人

- ④ 7月上旬 西日本豪雨災害 広島県三原市 主に沼田川流域の浸水被害
三原市災害ボランティアセンター（9/18～9/25）

派遣クール数	派遣延べ人数
3班	34人

- ⑤ 7月上旬 西日本豪雨災害 岡山県倉敷市真備町 主に小田川流域の浸水被害
倉敷市災害ボランティアセンター（10/1～10/4）

派遣クール数	派遣延べ人数
1班	8人

平成 31 年 4 月 1 日付け正規職員採用の方針について

1. 概 要

(1) 採用予定数 4 名程度

(2) 資格要件

- ・学 歴 問わない
- ・年 齢 昭和 54 年 4 月 2 日以降に生まれた者
- ・資 格 次の各号のいずれかに該当する者
 - ①保健師免許を有する者
(平成 31 年 3 月 31 日までに免許取得見込みの者を含む)
 - ②社会福祉士資格を有する者
(平成 31 年 3 月 31 日までに資格取得見込みの者を含む)
 - ③介護支援専門員の資格を有する者 (実務経験を有する者)
- ・その他 上記の資格のない者で次の各号のいずれかに該当する者
 - ①上記の資格は有していないが、福祉に対する強い情熱がある者
 - ②福祉の勤務経験はないが、福祉に対する熱き心がある者
 (①及び②については、採用後 10 年以内には何らかの福祉資格を取得)

(3) 試験内容

① 1 次試験 (性格能力検査、面接試験)

日 時 平成 30 年 7 月 7 日 (土) 11:30～17:00 及び 8 日 (日) 9:00～17:00

会 場 松江市千鳥町 70 番地 松江市総合福祉センター (両日共)

※試験問題作成及び採点は株式会社リクルートキャリアに委託

ア. 性格能力検査

試験名	検査内容	出題数	時間	費用
性 格 検 査	仕事をする上での人柄・職務への適応性・組織への適応性の検査	約 300 問	30～40 分	4,500 円 ～
能 力 検 査	どのような仕事にも共通して求められる基礎的な能力を測定検査	約 40～97 問	35～70 分	5,000 円

イ. 面接試験

1 次面接 (管理職面接)

・ 集団面接 1 グループ (6 人～7 人程度) 15 分～20 分程度

・ 個別面接 一人 10 分～15 分程度

※面接審査員 目次常務理事、諏訪事務局次長、豊島課長、湯浅課長、安藤課長

※試験日の翌日に、上記審査員による判定会議を行う

※1 次試験において 10 名程度に絞り込み、2 次試験へ進む

※1 次試験多数の場合は集団面接のみとする

② 2 次試験 (役員面接)

日 時：平成 30 年 7 月 22 日 (日) を予定

会 場：松江市総合福祉センター 1F 会議室

・ 役員面接試験 1 人 15 分程度

※面接審査員 石原副会長、長岡副会長、角専務、早弓理事 (市)、野々内理事 (女性)

※試験日の概ね 2 日以内に、上記審査員による判定会議を行い、採用者を決定する。

松江市社会福祉協議会 職員数

平成31年3月31日

所属		正規職員 専務含む	継続雇用 職員	嘱託 職員	臨時 職員	パート 職員	計
専務理事		1					1
事務局長		1					1
総務課	課長	1					1
	総務係	5		1		4	10
	経営企画係	2	1	1		1	5
	松北事業所(松江社協介護センター)	1		5		9	15
	松東事業所(美保関介護センター)駐在含	4		8	9	10	31
	松南事業所(松南介護センター)			6		7	13
	湖南事業所(宍道介護センター)			6	1	13	20
	八雲児童センター			2		4	6
	介護認定調査	3		17		9	29
地域福祉課	課長	1					1
	地域福祉係	8					8
	ボランティアセンター	1		4			5
生活支援課	事務局次長兼課長	1					1
	生活支援係	3		1			4
	総合相談調整室	4		10			14
地域包括ケ ア推進課	課長	1					1
	地域包括ケア推進係	1		1			2
	地域包括支援センター	25		25			50
	在宅医療・介護連携支援センター	2		1			3
東出雲支所				2	1	1	4
計		65	1	90	11	58	225

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。